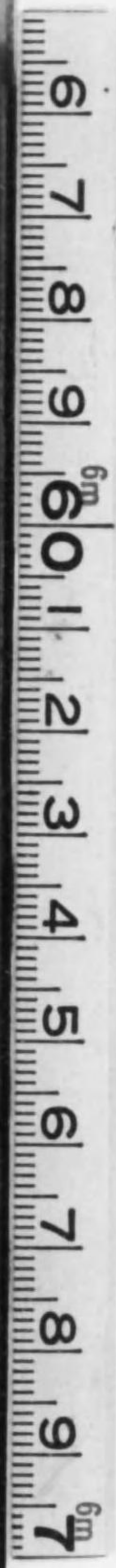


特252
878

戦後婦人の活動

日本中央放送局



始



878

銃後婦人の活動

熊本中央放送局

脚本

平 日		
開 始 時	放 送 時 間	放 送 種 目
前 6.30	.20	ラジオ体操、音楽
6.50	.09	ニ ユ ー ス
6.59	.01	時 報
7.01	.29	講 演、講 座
7.30	.20	講 演、講 座
7.50	.01	今日の天気見込
7.51	.19	ラジオ体操、音楽
8.10	.20	音 楽
8.30	.10	氣 象 通 報
8.50	.15	ラジオ体操、音楽 小學生の時間(月・金)
9.05	.05	經 済 市 況
9.30	.15	經 済 市 況
10.00	.20	音 樂 家庭(月・水・金) 学生(火・木・土) 料理成立(月・水・金) 日用品備置
10.20	.20	講 演、講 座
10.40	.20	經 済 市 況
11.00	.15	幼 兒、小學生の時間
11.40	.19	經 済 市 況
11.59	.01	時 報
後 0.00	.05	天 氣 豫 報
0.05	.25	音 樂、演 藝
0.30	.35	ニ ユ ー ス、局 報
1.05	.05	經 済 市 況
1.50	.10	經 済 市 況
2.00	.25	小學生の時間
2.30	.05	氣 象 通 報
2.35	.05	經 済 市 況
2.40	.20	ラジオ体操、音楽
3.00	.20	講 演、講 座、音楽(大休と曜) (日・月)
3.20	.10	經 済 市 況
3.30	.30	教 師 の 時 間
4.00	.30	ニ ユ ー ス、局 報
5.25	.05	經 済 市 況
5.30	.30	講 演、講 座
6.00	.25	子供の時間、子供の新聞
6.25	.30	講 演、講 座、音楽 産業ニュース(木曜日)
6.55	.05	カレント トピックス
7.00	.30	ニ ユ ー ス、局 報、天 氣 豫 報
7.30	.10	講 演、音 樂
7.40	2.00	講 演、音 樂、演 藝、實 況
9.40	.50	時 報、ニ ユ ー ス ニュース(水・金)・気象通報・職業紹介・ 日・月・今日のニュース

再生は適度に、音量は小さくして聴きませう

日 曜 ・ 祝 祭 日		
開 始 時	放 送 時 間	放 送 種 目
前 6.30	.20	ラジオ体操、音楽
6.50	.09	ニ ユ ー ス
6.59	.01	時 報
7.01	.29	講 演、講 座、實況(不定期)
7.30	.20	講 演、講 座
7.50	.01	今日の天気見込
7.51	.19	ラジオ体操、音楽
8.30	.10	氣 象 通 報
9.00	.30	音 樂
9.30	.30	子 供 の 時 間
10.00	.40	講 演、日 曜 勤 行
10.40	.30	講 演、音 樂、演 藝、實 況 (録音)
11.10	.20	講 演
11.50	.09	海 外 市 況
11.59	.01	時 報
後 0.00	.05	天 氣 豫 報
0.05	.25	音 樂、演 藝
0.30	.30	ニ ユ ー ス、局 報
1.00	2.30	音 樂、演 藝、實 況
3.30	.10	氣 象 通 報
4.00	.20	ニ ユ ー ス、局 報
6.00	.25	子供の時間、子供の新聞 (祝祭日)
6.25	.35	講 演、講 座、音 樂
7.00	.30	ニ ユ ー ス、局 報、氣 象 通 報
7.30	2.10	講 演、音 樂、演 藝、實 況
9.40	.50	時 報、ニ ユ ー ス 気象通報・局報・今日のニュース

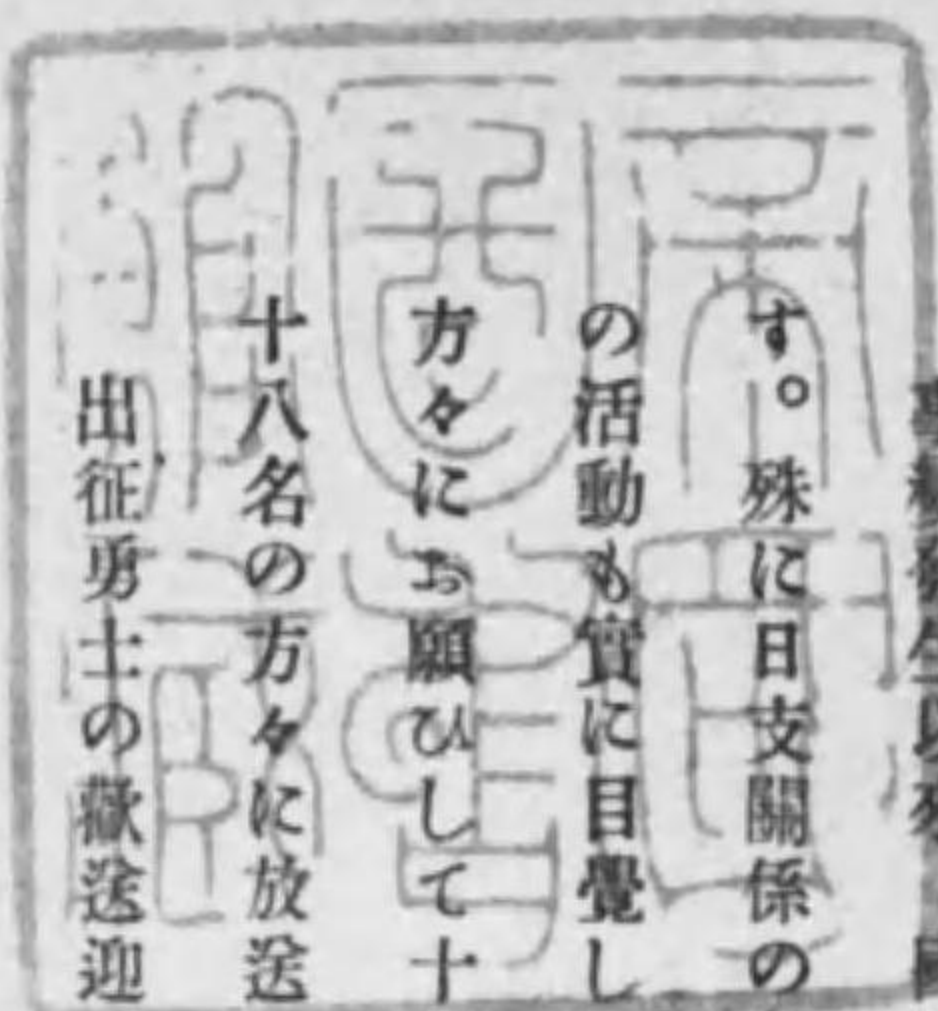
學校放送時間割

時 間	日 曜			
	前 8.50-9.05 (20分間)	前 11.00-11.15 (15分間)	後 2.00-2.25 (25分間)	後 3.30-4.00 (30分間)
月	ラジオ体操 及び演藝 (月・日)	尋 一	尋 四	教 師
火	ラジオ体操	幼 兒	尋 五	教 師 (録音時間)
水	ラジオ体操	尋 二	尋 六	教 師
木	ラジオ体操	幼 兒	高 等 科 (尋五、高等科)	教 師 (録音時間)
金	ラジオ体操	尋 三	高 等 科 (文・理・工、高等科)	教 師
土	ラジオ体操			

自 立 学 校 十 三 年 十 二 月 二 十 一 日 日 日

特 252
878

はしがき



事變發生以來、國防愛國婦人會の活潑なる活動は、世界に比類なき日本女性の誇であります。殊に日支關係の主要な位置を占め、二度迄も敵機來るの警報を出した九州の地では婦人の活動も實に目覺しいものがあり、この有様を實際活動に携つて居られる各地の中堅婦人の方々にお願ひして十月廿一日から十一月中旬に亘り、家庭婦人の時間を之に當て、全九回、十八名の方々に放送して戴いたものを輯録、この冊子として之をお願ひする次第であります。出征勇士の歡送迎、戦地への慰問品、白衣の勇士への真心の御慰問、護國の英靈に對する心からのお出迎へ、出征遺家族に對する行き届いたお世話、或は種々の奉仕作業、更に貯蓄奨勵など、洵に銃後婦人の受持つ領域は有形無形に廣汎なのであります。この小冊子に盛り入れた力強い活躍こそ銃後の完璧、東亞大建設への礎石をなすものと信ずるのであります。



目次

十月廿一日	午前十時二十分放送	國防愛婦熊本市 壺川分會長	熊本市 佐佐木町	五〇才	一
十月廿四日	午前十時二十分放送	愛婦長崎市長 山里分會區長	長崎市 松尾里八町	四九才	六
十月廿七日	午前十時二十分放送	國防愛國贈啖郡 財部町分會長	鹿兒島市 山之口町三四	四九才	八
十月廿七日	午前十時二十分放送	愛國高橋町 分會會長	財米部 良イセ郡	四九才	一二
十一月四日	午前十時二十分放送	愛婦副市長 分會支部分會	熊本市 外高橋町	五二才	一四
十一月四日	午前十時二十分放送	愛婦副市長 分會支部分會	京都府 村谷田哲	四二才	一六
十一月四日	午前十時二十分放送	愛婦副市長 分會支部分會	宮崎市 松橋町一ノ七五	六四才	一九

十一月九日	國防吉田區分會會長	宮崎市高サキ町	二一
午後三時放送	愛婦會御井町	福岡縣御井町	五四才
十一月十二日	愛婦佐賀支部中川副村分會長	佐賀縣中川副村	五二才
午後三時放送	國防婦人會長崎縣副本部長	佐世保市山祇町五二二大江キ	二八
十一月十七日	國防役員三養基郡分會長	三養基郡田代町	三一
午後三時放送	愛婦郡城分會長	都城市姫城町	三四
十一月廿二日	愛婦肝屬郡花岡村分會長	肝屬郡花岡村	四一才
午後三時放送	國防福岡地方本部副本部長	福岡縣野モト	三八
十一月廿八日	愛婦薩摩郡下東郷村中郷分會副草郡長	東郷村中郷	五〇才
午後三時放送	國防天草郡高戸村分會長	天草郡高戸村	四〇

銃後婦人の活動

愛婦 熊本市壺川分會長
佐々木よし

決死報國、あらゆる艱難と戦ひつゝ、忍苦奮闘される皇軍將士の御活躍ぶりを伺ひます毎に、私共は銃後に於てもそれに劣らない働きを致さねばならないと互に勵まし合ひつゝ、婦人會員一同結束して、出征將兵の接待歡送迎に、傷病兵の慰問奉仕に、出征戦死軍人遺家族の御慰問に努め、又第一線將士への慰問品發送、食糧品献納、軍衣袴の縫製、物資補充の爲の反毛運動、古金物古雜誌類の集經整理其他機會をみては、賣藥の行商をしたり、石鹼手拭等を購買したりして純益を献金或ひは婦人會の活動資金とし、又夏袴下の下賃をその儘献金された方々もあり、銃拭約千枚を献納したこともあり、家庭内では出來得る限り經濟を緊縮して貯蓄報國の一端とする等、全力を盡して銃後の御奉公

に努めて居ります。是等の奉仕の中、何れに輕重をつぐべきものでもなく、又つけても居りませんが、仕事が目まぐるしく忙しく、最も緊張致しますのは出動部隊への奉仕でございます、是の最初の經驗は、〇年八月初旬で酷暑の盛りでございます。炎天下に働く馬にもいたく同情致しましたが、早朝から深夜まで、シヤツもズボンも、今、川から上つたばかりの様に、汗みづくになつて辛勞なざる兵士の御様子を心なく見ては居れません。それにやがては北支中支の曠野に辛苦の限りを盡して戦はるゝのだと思ひますと、何とか暫しでも御慰めして差上げ度い、快く御出立になれる様お計らひ致し度い心が一ぱいで各家庭共出動將士のお宿をして非常に多忙の折ではございましたが、各支

部別に分擔區域を定め、或は詰所に或は馬繋場に車輛置場に接待奉仕を致すことに致しました。それから毎朝エプロン裨甲斐甲斐しく、詰所に於ては机椅子の整理から、水まき掃除洗物まで彼是とお世話致し、晝間は麥茶を何斗と沸かして氷で冷し茶菓子添へて接待し、夜は警備交代の爲、敷物よ枕よ蚊取線香よと心をこめて持ち寄り、夜更けには又衛生に氣を配つて御目覺しを差上げ、毎晩十二時頃一日の勞をねぎらつては翌日を約して引取るのてございしました。馬繋場車輛置場に於ても、その一隅に休憩所を拵へて、日中は西瓜氷をもつて接待し、夜は當番の方々へ蚊取線香お菓子等を持つて慰問し、特に空地に急設の臨時既には、婦人會から電燈をとりつけ又置座、英座を設備して睡眠不足を補はれる様取計らふ等、私共として氣付く限りの御奉公を致しました。一方他の部隊の出動は日々相次いであるので、その方のお見送り、驛前での接待も致さねばならず毎日仕事が幅濶して居りました。或夜一部隊を歡送して歸つて來ますと、何時になく學校に大勢集合して居られます、入つて見ますと私共區域宿泊中の將兵は全員集合して出動準備があつて居ります。直ちに大燭光を取出して將兵の作業を扶けました。

そこへ又新しい入隊兵士が來られました、聞けば九州本土をはなれた随分遠方から來られたもので、汽船が遅れて今日到着し、もう午後十時さいふのに朝食を済ましただけと言はれるのでお氣の毒で堪らず直ぐ炊出しを始める一方、當座の空腹凌ぎにと數名はパン屋饅頭屋を走り廻り、在店中のものから新しいのを選んで差上げました。その中襟章付けが始まつて「小母さん僕にも僕にも」と頼まれます。糸を借して、針を借してと大騒ぎしてお手傳しました。濟んだのは夜中の二時でございしました。兵士の方々は朝四時半の起床ですからよくお眠りになる時間ありません。それで翌日からは、校庭の木陰一ぱいに英座を敷いて休憩の時間に少し宛でもお寝みになれる様致しました。その翌日は愈々出發されるといふのでお辨當のお握りを拵へる事になりました。朝から各家庭より米の寄附を仰ぎ、大馬力で豫定の午後六時迄に〇〇〇分かを作りました。之を送つて跡片付をしてゐると午後十一時更に〇〇〇名分を頼んで來られました。又米を集め、やつと仕上げて一同引上げ様さしてゐると、又あと〇〇〇分是非頼むと言つて來ました。時に午前二時。一同昨朝來の疲れで弱り切つてゐましたが、戦地の將兵の御困

苦を思へば一夜位の徹夜が何であらうと、會員の意氣は益々上り、豫定の午前四時半には見事に間に合せて、無事にお見送り致しましたが、この時程團結の力強さを感ぜられた事はございませぬ。其の後一馬廠隊宿泊中、一日雨繁く寒さ加はりましたので、馬が病氣にでもなつてはと、會員の家庭より笠を持ち寄り馬繋場に赴いて一同雨に濡れ、寒さに震ひ乍ら百頭近くの馬の

覆ひを作つて着せた事もございました。又連日草刈を行つて馬糞を提供した事もございました。此の他、御出發の度に心からの謝詞を戴き、快く御立ちになるのを拜見しますと、幾分でもお役に立つたといふ喜びに斯ういふ世に生まれ合せた事を、何時も感謝致したくなるのてございませぬ。

銃後婦人の活動

門司市 愛國 婦人會古城分區長

隅田 壽 和子

支那事變が勃發致しまして以來、全國愛國婦人會の皆様も、御同様一生懸命の御活動を續けて、居らつしやいます事と存じますが、吾が門司市は、御承知の通り、内地の咽喉を占めて居りますので、幾分外の都市の

御活動と異つて居ります事柄の一端を申述させて頂きます。當門司市では、現在壹萬餘人の會員を有し、之を十三に分ちまして、毎日常番で交代御務めさして頂て居ります。連絡の方法と致しましては、大休前日夕刻、

市役所から分區長の許へ、電話にて御通知があり、更に方面部長、又は班長に通知し、更に會員に御知らせをすると云ふ具合になつて居ります。かくして時局柄、手落のない様に機敏な活動を續けて居ります。今其大體を申上ります。私共は、常に愛國婦人會の會祖、奥村五百子刀自の御趣旨を其精神と致しまして、少くとも之を實行に移したいと云ふ、強い信念から、現役及び出征將士の歡送迎は申迄も御座いませんが、遺家族慰藉救援に最も力を入れて居る次第で御座います。従て事變以來晝夜の別なく到着せらるゝ部隊に對しましては、茶菓の接待は勿論の事、到着致されますと直ぐ、色々の御準備をなさいませし將兵の方々の御勞苦を幾分でも御慰め申上りたいと存じまして、御一所に夜明しを致し御加勢申上りました事も度々御座います。又冬の夜は特に關門の寒む風に吹き晒されませし度毎に、前線將兵の御勞苦も、一入僂ばれて、知らず／＼涙を催す事も少く御座いません。尙出動將士の船出に當りましては「アマタ」の學校生徒や各種團休其他一般人々と御見送り申上るので御座いますが、故國最後の地とて送らるゝ船上の將兵も、埠頭を埋むる見送りの人々も、双方共に、日の丸の國旗を打振りつゝ、愛國少女團員

等の奏する音樂の音や、天地もゆるがんばかりの萬歳の内にも「シツカリ」頼む／＼の聲に將士は只「ニツコリ」ほゝ笑みうなづかるゝ計りにて、船は次第に沖へ／＼と離れて参ります。其情況は何にもたとへ様なく感激の極みで御座います。屢々彼の地から頂きます御便りの中にも、あの日、あの岸壁で打振られた日の丸の旗、轟き渡る萬歳の聲は、あり／＼と私共の耳に残り「ヨクゾ」男子に生れたる甲斐こそあれと、銃後の激動我が身の使命に銘じ、奮勵努力君國に洵する覺悟に有之候。と、云ふ様な御手紙を度々頂きますに就きまして、私共銃後の務めをしみ／＼感ぜさせられるので御座います。又武運拙く或は敵弾に傷き、或は病魔の爲めに白衣を纏て御歸還なさいませし方々の御不自由な御休を病院船から徒歩で、埠頭に設けられた休所や、擔架で直接自動車へ運ばるゝのを御迎へ、致します度毎に、只々感涙にむせぶ次第で御休を支へたり御荷物を運んだり或は北九州五市並に愛國婦人會福岡支部よりの慰問品を贈呈致したり、茶菓の御接待を致し乍ら戦線の勇ましい御話や、御不自由な御話等を伺ひますに付きまして、我が皇軍將兵の「ホントノ」強さを今更の様に感じさせられ感謝の念で胸が塞

がる事も度々御座います。又差廻されました病院自動車で陸軍病院へ御送り申上或は轉送の場合も驛又は棧橋で同じ様に御送り申上て居ります。御用船で御歸還の途中病狀あらたまりまして、内地到着時間の後に迫り、日本はまだか／＼と連呼しつゝ、亡くなられた方もおありの事と承りますが、ほんとに、御氣の毒にたへません。船中で御亡になりました方々は、其儘市内の寺院に安置申上まして、英靈の御冥福を祈りつゝ、御通夜申上御遺族の方々の御出を御待申上て居ります、事も常々の事で御座います。

又東洋平和の礎となられました、護國の英靈を岸壁に御迎へ申上ります時には、船が入りますと直ぐ、埠頭に設けられました、慰靈祭場で、北九州五市並に佛教聯合會の主催で多數僧侶の讀經が御座います、主催者並に官民各種團休と共に、婦人會員も一同御焼香申上それ／＼原隊へ御送り申上て居ります、殊に尊き遺骨の御通過の際は會員代表者が船中へ参りまして安置せられました英靈に額き涙の御焼香を捧げ御冥福を祈つて居ります。又遺骨の御供にて歸へられました戦友の方々から御話を伺ひますに、食糧がなくて涙の出る事は有りませんが、戦友のたほれた時は夜靜かになつ

てから涙止めもなく流るゝと、眼をうるませ乍ら語られますが、實に無情の感激に打たれ、さこそと御察し申上るので御座います。

又昨年十一月からは北九州五市愛國婦人會員が交代で毎日五、六十名づゝ陸軍病院へ参りまして、繻帶再製に従事致して居りますが、此仕事は尊い名譽の戦傷病者が、一度御使ひになつて、血や膿で汚れました、繻帶「ガーゼ」を丁寧に廣げ、之を薬品で洗ひ、更に消毒液に浸し漂白致しまして、乾燥させ、何十回となく操返し、再び使用される様に致すので御座います。承りますれば是に依りまして経費の節約年額五、六萬圓に達すると伺ひます。是も銃後私共の御奉仕の一端かと思ひますれば、誠に喜びにたへません。是等奉仕に参ります色々な費用は、私共會員が月々廢物を持寄り是を賣却致しまして、其一部に充て居ります。尙市内に經營致して居ります愛國婦人會産院には事變以來出征並に現役軍人家族の爲め妊婦の無料入院を扱つて居ります、入院の方々も少く御座いません。

惟ふに事變の前途は今尙豫測を許されませんが、私共婦人は長期應戦の堅き覺悟の下に、國民精神總動員の趣旨を休し、先づ家庭を守り、各種團休打つて一丸と

なり、愛國婦人會の使命なる婦人報國の道にいそしみ
以て銃後婦人の實を擧げたいと存する次第で御座いま
す。今更に一言付加へて置きたいと存じます事は現在
各國共に「スバイ」の暗躍甚しいと云ふ事を耳に致し

て居りますから、謠報に關し、疑しき者は直に官憲に
報告致ます事も銃後婦人の務めかと存じて居ります。
終りに望み皆様の御静聽煩しました事を心から感謝申
上ます。

銃後婦人の活動

長崎市松山町五一

山里分會區長 松尾八枝

昨年七月、支那事變が勃發致しまして、銃後婦人の
活動が愈々、緊急を告げました。

愛國婦人會長崎縣支部に於かれましては、會員の統
制と、事業の徹底を期する爲に、縣下各市町村の、分
會分區の組織に、着手せられまして、會員數も、事變
前の三萬四千人から、現在の七萬數千人に、倍加され
たのでございます。

かやうな情勢の中に、私共の山里分區は、昨年八月
廿九日、長崎市、最初の分區として、結成式を舉行ま

した。本分區の區域は、昔の浦上山里村の、大部分を
含むのでございます、結成に際して會員數が急増加
いたしましたことは、婦人の時局に對する、正しい認
識の、現れと存じまして、大へん力強く感じました。
結成以來、會員一同、非常な意氣込で、活動を續けて
をられます、その熱心と事業の數々は、短かい時間で
は申しつくされませんが、本日は特に、分區の方々が
軍人遺家族援護に、盡してをられる状況の一端を、お
話しさせていたゞきたいとぞんじます。

當分區では、區域内を二十三ヶ町の班に分けて、各班
に役員を置き、班内の出征軍人の遺家族は、その班から
お世話を申上げる事に致してをります。同じ町内で、
かねて大休の御生活の状況も、判つてをりますが、應
召出征の方がございまして、分區からのお餞別を持つ
て、班の役員がお伺ひ致します。その時、もし、生活
上の御不安を認めましたならば、直に、市と、愛國婦
人會支部に申出でまして、軍事扶助のみちを講じて頂
き、分區からも、若干のお見舞を差上げてをります。
常々班の役員や會員が何かと御相談相手になりまし
て、萬事お世話に當つてをりますが、歳末と中元には
特に遺家族全部の方を慰問申上げまして心からなる御
見舞品をお贈りしてをります。

出征軍人の方々には、市や愛婦支部のおさしづで、各
會員から、慰問袋を調製發送してをります。各班では
班出身軍人に、その御家族のお寫眞を撮りまして、近
況を委しく認めた慰問文と、お菓子や、烟草や、日用
品などを納めた慰問袋を、お一人、々々に、直接、郵
送致してをりますが、迎もおよろこびのお手紙を頂い
て居ります。

遺家族のお宅でお産がありましたり、御不幸がござ

いました場合など、勿論で御座いますが、御病人の時
など、班の會員交互に、其看護に當りまして、入院か
ら附添人までお世話致して居ります。
その經費など、支辨の途がなければ、支部分區、其
他有志の方々に、負擔して居ります。
又田植などの農繁期には、會員が勞働奉仕致しまし
て、お手傳させて頂いてをります。

慰問に伺ひました時など、無心に遊んでいらつしや
る、出征將士のお子様方の、いたいけなお顔を見ます
と、永いことお父様に離れていらつしやる淋しさが漂
ふて居る様に考へられ、心をこめて可愛がつて差上げ
たい衝動にかられますのでございます。お子様方のみ
ではございません、或は我子を、或は我夫を遠い戦線
に送つて居られる、遺家族の方々のお胸のうちをお察
し申上ますとき、此方々に少しでも、淋しい思や、御
不自由な考を、お起させしては相すまぬこと、身も
心も、打込んで、お慰め、お力添へさせていたゞきた
い、努めて居ります。

私共の此氣持が、戦地の兵隊さんにも通じたのでご
ざいませう、去る四月某新聞特派員を中心にして、戦
地で開かれた座談會に、分區出身の一上等兵のお話と

して、「自分の郷里には、愛國婦人會があつておせわ下さるから、家の事は、全く、心配がない」とのお言葉が、同新聞に掲載されて居りました、之を見まして一同、此一言で今までの辛勞は忘れてしまつたと、喜び合つた事でございます。

此他武運長久の祈願祭、國防献金、軍用襦袢、袴下、軍器手入用雑巾の製作等、あらゆる銃後活動に、會員の赤誠は遺憾なく發露され、驚くべき大きな成績をあげてゐるのでございます。

以上の分區活動資金は、支部よりの會費に對する交附金、補助金の他、會員の共同作業による勞働收入も亦尠くありません。

銃後婦人の活動

鹿兒島市山之口町三四

國婦役員 丹下 は な 子

去る三日長くも、

本年五月、貯蓄報國の爲、各戸一日一錢貯金運動を起しました處、各班で其趣旨をよく認識されまして、班の役員が集金、預入のおせわを致して居られますが既に、四千口に達して居ります。

更に非常時生活改善の爲に、三千余名の會員が一体となつて、物資の節約や再生に當り、長期戦下における、銃後の緊張生活を續けて居ります。

以上は我山里分區の状況で御座いますが、長崎市内、他の分區、班に於かれましては、更に、より以上御活動してゐられるのでございまして、互に勵まし合ひ、銃後の護りの完壁を期し、皇國不動の國策達成を、皆様と共に祈りしてゐる次第でございます。

り、其の上、莫大の御内帑金まで御下賜あらせられました。また、

皇后陛下には傷痍軍人の上を御案じ遊ばされまして、御仁慈深い御歌を下し給はりました事は、私共臣民の只恐懼感激に堪へない處でムいます。

抑、建國三千年の長い歴史を有して、實に世界に冠絶した國體をもつて居ります我が帝國は、今や、未曾有の國難に遭遇してゐるのでムいます。

私共五千万の日本婦人は此の國難打開のために、充分に時局を確認しまして、いよ／＼堅忍持久の覺悟をもつて、御國を守らねばならぬ秋と存じます。

海行かば水づく屍、山行かば草むす屍、大君のへにこそ死なめ願みはせじ。

といふ古歌がムいます。是れは日本武人の魂を詠つた歌でムいます。即ちこれらが我が忠勇なる皇軍勇士の御精神ではムいますまいか。

昨年七月、事變勃發以來幾度となく私共は出征軍人將士の御見送りを致しました。其の雄々しい御門出の御姿を御見送りし、又、其の金鐵のやうに堅い御決心を御伺ひしたり致しました度に、何時も私共の胸は張り裂けるやうな思ひが致します。

天皇陛下には軍事援護のため、優渥なる御勅語を賜は

あゝ、私共銃後の婦人は、たとひ、此の身の肉を刻み骨を砕くやうな事があつても、戦場の勇士達に御不安を懐かせる事があつてはならない。と、互に心に誓つてゐるのでムいます。

彼のラヂオニュースや、新聞記事、ニュース映畫などで、戦争の實況を見聞致します度毎に、私共は歎びの聲を擧げて萬歳と叫び度時もムいます。又或時は腹立しさ悲しさで胸塞がり、齒を喰ひしはる時もムいます。

私共國民が銃後にあつて生業に安んずる事が出来、枕を高うして平和の夢を結ぶ事のできるのは、一に、天皇陛下の御稜威に因る事ではムいますが、又願みますれば皇軍勇士の武勳に依るものでムいます。

暑さにつけ、寒さにつけ、風や雨につけ、何時も私共の思ひは戦場に馳せてゐるのでムいます。朝に夕に皇軍の武運長久を祈り、傷痍軍人の御平癒を祈る心から郷土の神社に参拜を致しまして専ら神佛に御加護を願うのでムいます。或は毎朝御日參をなさる篤志の方もムいます。また戦場の御艱難辛苦を忍び、食物の缺乏或は故郷を長く御離れになつて荒み行く御心の御寂みしさなどを思ひやりましては、心をこめし慰問袋を

送り、或は、婦人會の幹部や、女子青年團員の方々が手分けをして慰問状を認め、出征軍人御家族の御近況を御通知してゐるのでムいます。是等に就いて、婦人會の皆様が御熱心に活いて下さるので何時も私は感謝して居ります。

又一面には、御遺家族の方々の御淋しさや、御心遣ひの程を御察して、暑中や寒中、或は今回の銃後々々援強化週間には國防婦人會の各分會が一齋に御遺家族を御見舞致しました。時折は御遺家族御慰安の爲めの催し物をも致します。

其の他、御出産の御喜びは勿論、遺家族の中に御氣の毒な方や、或は、奇特な行がムいます時には、特別に親しく御訪ねして御慰めしたり、御勵ましたりして居ります。

特に、戦死者の御遺族には一層の御同情の心持を表はし、御墓参りをしたり、御墓の御掃除をする事にして居ります。

今回の銃後々々援強化週間に本縣で表彰されし方は、孝子節婦といふ善行者が遺家族の中から五名。また、銃後々々に盡されし功勞者が七名。其の他、一つの家から四名以上の軍人を今時事變に出したといふ名譽の

方が、二十八名ムいました。

是等の人々のため鄭重なる表彰式が縣廳内で擧げられました。此の孝子節婦五名の内節婦は一人、孝子は男子二人女子二人でした。其の尊い御心がけ、立派な行爲とについて只々感激させられ、其の御光榮と、御喜びとで参列した私共まで嬉し涙がこぼれました。

又、遺家族の方々の御生活の御安定を計り、御留守中の御淋しさを御慰めするために、本年三月から鹿兒島市では授産所を設けられ軍人遺家族の御婦人達に産業を授けてゐられます。只今の處では五十才位を年長者として、十七八才位までの御婦人達がミシン臺を前にして、軍隊用のシャツや、ズボンなどを裁縫してゐられるのでございます。それを拜見しまして、私は心から御同情を申上げ、此の尊い犠牲的御活きに對して暫く感謝の涙にむせびました。

また、市内の國防婦人會では、各分會が毎日交代で陸軍病院に勤勞奉仕をして、白衣の勇士を親しく御介抱したり、御慰めしたりして、一日も早く御平癒になつて再び第一線に立つて活躍して下さいませうに御力づけして居ります。病院を度々御訪ね致しますにつけ、私共は傷病者に對し恰も母親か姉かのやうな心持にな

り殊に御痛みの甚どい方については、一層心にかゝり御案じ申上げて今度御伺ひする迄には御快方に向ふやうにと御念じ申上げて、此の頃では御奉仕の日が來るのが待遠しやうな氣持が致します。

防空訓練には、銃後を護るものゝ大事な活きの一つであると存じまして、私共婦人に適した御役を務めて参加して居ります。中にも、家庭防護には主として私共婦人が専任になつて務めて居ります。

此の外、また、經濟國策に順應するために、各婦人團體では貯金の奨励、金献金、代用品愛用や、又廢物を集めて賣却しこれを國防費に献納したり、或は、恤兵金にあてたりして居ります。

鹿兒島市内國防婦人會の貯金は、八月迄の調査が次のやうになつて居ります。

六、七、八の三ヶ月に渡りまして、延人員一萬二千四百九十七人。全金額一萬三千七百六十五圓六十二錢です。一ヶ月の平均人員は四千一百六十六人、平均金額は四千五百八十八圓五十四錢となつて居ります。それで、一人一ヶ月の平均金額は、壹圓拾錢となるのでございます。

以上は重もな、鹿兒島市内の銃後婦人の活動の大略

に過ぎませんが、縣下各婦人團體の皆様が各自我が町や村の状況に従つて微細な點にまで能く御注意になつて、眞剣に活動して居られる事を見聞しまして、何時も感激し、自から驚馬に鞭打つてゐるのでございます。

我が武藤國防婦人會長の示された御歌に、
人のため世のため盡す誠こそ、やがては國のま
もりなりけれ。

とあります。更めて申上げるまでもございせんが、私共銃後を守る婦人は、皆此の精神のもとに一致協力して國難に當り、我が大帝國の使命たる新東亞建設の目的達成のためには楠公の誠忠にならひ、七生報國の覺悟をもつて邁進しなければならぬと思ひます。かくしてこそ、上は、
聖恩の厚きに對へ奉り、下は、武勳に赫やく皇軍將士の忠勇義烈の御功蹟に報うる事になると思ひます。

銃後婦人の活動

鹿兒島縣噺喉郡財部町
國防愛國婦人會分會長

米 良 イ セ

今次支那事變は常に武力のみならず國家の凡ゆる資源を綜合した國力戰である事を思ひ、更に第一線將士の赫々たる武勳と困苦缺乏を察します時、國民の半數を占むる私共女性の責務は極めて重大で御座います。私共は克く時局を認識致しまして、一致協力奉公の至誠を捧げ堅忍持久益々銃後の護りを堅め長期聖戰の目的完成に貢献すべきであります。日夜其の力の及ばざるを憂へて居る次第で御座います。

私共の分會は日露戰爭當時の設立で會員三百餘名で御座いましたが時局に鑑み皆様協力の必要を痛感致しまして町當局、並に學校の御援助により幸ひ皆様の御理解を得て非常な好結果を得たので御座います。嚴寒

の候、身も凍る様な、夜寒の風に吹かれながら十二時過ぎて歸宅する事も度々で御座いました。又會費は時局柄節約第一をモットーとして自ら働いて之を得る様方針を立てました。そこで各部落班では稻、陸稻、甘藷、桑等の共同耕作や道路修理其他の共同作業を勵力してゐます、之が爲め會費の完納は勿論、會員相互の親睦も團結とを強め公共奉仕の麗しい發露が隨所に見られつつあります事は誠に嬉しく力強い限りで御座います。私の町から相當多數の出征者があります。召集令が参りますと早速出征標旗並に千人針を贈り御氣の毒な御家庭に對しては取り敢へず御見舞金を差上げ一面縣支部へ申報する事に致して居ます。尙父上が出征され

た爲め中等學校を退學の止むなき生徒さんに學費の御援助を取計ひ無事通學して居られる方、年末慰問金や火災の御見舞金等皆感謝して居られますが、こうした件數七十八件、金額一千五百四十四圓に及んで居ます。外に町内の産婆さんと連絡致しまして御家族の助産奉仕を爲し其の費用を縣支部から支拂つて頂いて居ます。が既に出産六十七名に達し、勇士の方々より、留守宅の事は分會に御願ひが出来たので安心だと非常に喜んで頂いて居ます。尙、御留守宅には勞働奉仕や、顧客の誘致に努め慰安の實を擧げ、田植時には各學校や各部落班と交渉して八ヶ所に託兒所を設け生産擴充の一助に供しました。

武運長久祈願祭や遺家族慰安會を催して居ますが、いつも嚴かに盛大で感激の裡に興深く、一日を共に過す事は軍國ならでは見られぬ床しい情景で御座います。名譽の戦死傷をなさいました節は町當局、各團體代表者と共に御家庭を慰問し或は陸軍病院に御見舞致します。既に〇〇名の戦病死者が御座いましたが町葬に際しましては弔詞並に弔慰金弔旗料を供へ尙ほ忠魂護國の門札を御贈り致して居ます。七月の盂蘭盆には御遺族を慰問し縣支部寄贈の靖國神社寫眞額面を御靈

前に供へ且つ募參して御冥福を御祈り致しました尙部落班では毎月一回必ず御墓の清掃を致して居ます。

郷土出身の勇士に對しては慰問袋、慰問状や婦人會の雜誌等を御送りして居ますが非常に喜ばれ村の近況を委しく知らして呉れて嬉しかった、手紙を読んで居ると郷里の様子が目の前に浮んで戦地に在りながら懐しい故郷に歸つた様な心地がする。何等留守宅の心配は無用宜しく頼む、婦人會の雜誌を読んで銃後婦人の活動状況がよくわかり感謝に堪へない讀み物の少ない戦線の事とて多くの戦友に喜ばれ皆よりも厚く御禮を申して呉れとの事だつた等毎日感激に充ちた御便りが参りまして却て恐縮して居ます。

生活改善と致しましては主に無砂七分搗米の食用と衣服や身の廻りの物は在り合せの物で間に合はせる事に努め、更に貯金を奨励し既に團體のもの八、一〇〇圓に達しました。分會では先般國庫債券百圓券を買ひ各部落班でも求めつゝあります。先きに國防献金や縣支部の傷病兵輸送自動車献納金募集にも應じ且つ各學校優等生へ毎年愛國婦人會賞を寄贈する事に致して居ます尙愛國子女團と協力して軍需品の縫ひ方や眞綿製作に勤勞奉仕を致しました。只今は古足袋のコハゼと

抜け毛の集収に努力し外に事變に因み會員各自、其の宅地に一本宛の支那桐を植える事にし苗木の買入れを考慮中で御座います。

以上私共の分會で實行致します事を種々雜多に申述べましたが私共はモット／＼緊張して出征軍人方の

銃後の護り

愛國婦人會高橋町

分會長 大津山房

勞苦辛酸に劣らぬ様結束を固め銃後を護り各部落班としては共同事業を實施して生産擴充を計り營に事業資金を働き出すのみならず、愛國貯金資源を造成すると共に協力一致の精神を培ひ婦人報國の赤誠を捧げたい覺悟で御座まいす。

皇軍將士の御奮闘には皆様と共に感謝感激の極みに存じてゐる次第でございます。さて銃後の護りは日と共に固く結ばれて参ります時私達女の身で出来ませ事は會員協力一致御國の爲に盡さねばならないと存じます私共の分會でも及ばずながら小さな仕事をして参りました。こゝに其一二を御話し申し上げたいと存じます私の町でも他の町村と御同様に男子の方は職業の關係

上多くは外出して仕事をなさいますので出征軍人の御見送りやら祈願祭其外遺家族の御慰問なども殆私達婦人會員で御世話をして居ります。尙入營中の勇士の御慰問や陸軍病院の奉仕作業等も度々行つて居ります。又毎月の第一日曜日と第三日曜日には午前十時に會員全部集合して神社の御掃除を致しまして出征將士の武運長久を御祈願申上げてゐます。又遺家族の方々を御

慰問致しましては、ほんの僅ばかりではありませんが、皇后陛下御歌保存用額様やお砂糖タオルなどをお贈りして居ります。出征軍人の方々には慰問の手紙や慰問品又は郷土の懐かしい人達の旗行列や堤灯行列祈願祭の寫眞及御家族の御寫眞等を時々贈つて御慰め申上げて居ります是等の御寫眞等は特に戦地からも御家族の方からも非常に喜んで頂いて居る次第でございます。之等の事に要する経費は是迄婦人會で石鹼や脱脂綿等を販賣したり或時は活動寫眞を致したりして償つて居りましたが時局は益々長期に亘り従つて右の経費も繼續して私達の力で生み出す様にする必要を認めまして次の二つの事を實施する様に致しました。其一は、先頃熊本郵便局保険課に簡易保険金の集金をさせて頂く様に御願ひ致しました所、保険課でも快く御承諾下さいまして七月分から保険料の集金をさして頂いて居ります。集金の方法は三十戸乃至四十戸を一分區と致しまして分區内の婦人役員で月三回集金に参る様に致して居りますが保険加入者の方々もよく理解して頂いて集金も非常に成績よく出来まますし新加入者もだん／＼増加して参りまして國策上まことに悦ばしき事と喜んで居る次第でございます。尙集金の手数料としましては

集金高の五分を保険課より頂いて居ります。他の一は此度熊本縣社會事業協會及愛國婦人會熊本縣支部から多額の御補助を頂きまして軍事後援授産事業を私共婦人會の手で御世話する事になりました。本事業は軍人遺家族の方を主体と致しまして一般婦人の方々も成る可く多數御参加下さる様に致して居ります。授産の主なる仕事はビール瓶の蕪万年帯おひつ人等の製作を致します尙蠶網製繩七嶋サツタ等の製作も順次加へて行きたいと思つて居ります。是迄ビール瓶蕪の試作の結果を申上げますと一日一人の製作能力は普通の人で二百枚位で會社に納めます値段は百枚に就て貳拾八錢ですから一人一日五拾六錢位になります此内原料代が約二十三錢位になりますので之を差引致しますと一日の工賃として残りますのは三十三錢位になる譯であります。近々三ヶ月間の試作で會社に納入致しましたのが七百圓余りありましたので原料代を差引致しましたものが優に四百圓以上の工賃が臨時に私の町には入つて來た譯であります僅か婦人の細腕でも皆の人が協力して暇々を利用致しまして仕事を致しますと斯様にたくさん金の生み出されて参ります。殊にこの仕事は老人小供にも容易に出來而も特別の機械を要しませんので將

來相當の収入の源となるものと存じてゐます。うつかり遊ばせてゐた手を細々と働く様に工夫して下さつた町役場當局の御勞苦に感謝しながら多數の人の力が如何に偉大なるかを今更の様に驚いてゐます。今後は之

の授産場を中心として婦人一同眞に協力一致の精神をもちまして銃後の活動を一層固く堅實に長期經濟戦を克服し以て婦人報國の道にいそしみたいと存じてゐます。

銃後婦人の活動狀況

福岡縣京都郡荊田町

愛婦荊田分會副長

村 谷 哲 子

支那蔣政權の抗日重要據點として我が國民が擧つてこれが陥落を待ちわびて居りました武漢三鎮も皇軍の非常なるお骨折の結果一擧に我が手に歸りましたことはまことに目出度く感謝の念がそよりに湧き出づるの本日私は茲に京都郡荊田町分會員として農村方面に於ける會員の銃後活動の狀況を述べて皇軍諸勇士の御奮闘に感謝申上ぐると共に皆様方の尊い御批判を仰ぎ

度いと思ふので御座います。私共の分會は今を去る十八年の昔發會致しました荊田町主婦會を主体と致しまして愛國婦人會並に國防婦人會の三團體が融合渾一して何等の差別なく會員は固より幹部も全然同一で御座いましてこれが活動にあたりまして發會當時から一切男子の手をからず會長外役員はすべて女で會務の處理を始め萬般の行事を心

を協せてやつて居るのでございますお蔭様で永い年月の間何等の大過も御座いませす極めて圓滿にやつてまゐりましたことをこゝに申上げて皆様と共に喜んで頂き度いと思ふので御座います。申すまでもなく團體の活動を十分に發揮致しますにはどうしても相當額の基金を要する事を豫てから痛感致しましてお互ひに日常生活の節約を勵行し又廢物の蒐集販賣等により協力一致汗と膏との結晶によりましてやうやう參千數百圓の貯蓄を得たのでございます。

時恰も我が國は非常の時局に際會致しまして戦時公債の消化にせまられましたので會員一同決議の結果この貯蓄全部を擧げて國債の購入に充てたので御座います。が事變の前途は今尙ほ豫測を許しませんので来るべき公債の消化に備ふる爲會員の申合せによりまして一日一錢の愛國貯金を嚴守して居るのでございます。洵に零細な金ではございますが御陰様で既に參千有餘圓と云ふ多額に達するの盛況を呈しまして所謂貯蓄報國の一端を實行する事の出来ます事を一同喜んで居る次第で御座います。

こう云ふ次第で一事が萬事とか申しまして會員の納入等も一人の滞納者もなく極めて順調なる歩みを続け

て居るのでございます。申上ぐるも寔に畏き極みでございますが昨年の四月愛國婦人會總裁宮殿下が當荊田驛御通過に際しまして特にお召列車のお窓から私共一同へ對し洵に有難い御言葉を賜はりましたこの限りなき光榮に浴しました事に對しまして會員一同恐懼感激一層銃後の護りにいそしみ婦人報國の使命を全ふ致し度いと堅く誓つて居る次第でございます。

支那事變發生以來〇〇病院へ奉仕をさせて頂きますこと數十回に及んで居りますが其度毎にあの尊き勇士の方々に直接接します刹那只この胸はせまり喉の熱くなるのをどうする事も出来ません。どなた様も同じお感じを催さるゝ事と存じますが只々感謝と慶度の情切なるものがあつて自然と頭の下ることを泌々体験させて頂きました。

尙ほ私の分會は昨年九月から〇〇砲兵工廠の奉仕作業に従事いたして居りますが御示しの日には五十名乃至百數十名宛の會員が寒暑風雨の別なく拂曉から夕方おそくまで働いて居ります。今尙ほこれをつゞけて居りますが誰一人として不平や不満をもらす方は無論ございませす殊に私共が感謝に堪へないことはどちらの御主人様も御不自由をも顧みず快よく御出し下さいま

すことで會員と致しましても心おきなく奉仕することが出来ますことを大變喜んで居る次第でございます。でありますから工廠内に於きましても一生懸命で皇軍の爲に眞心こめて其仕事に従つて居るのでございませす。其中でも私の一番感謝致しましたことは奉仕中一時中止の命を受けて居りました折柄或日の深更突然明朝一番の汽車で百十名の奉仕者を出せよとの非常招集を受けましたので私共幹部は深夜直ちに各部落の班長宅を一々呼び起しまして出仕を御願ひ致しましたものゝ不安の裡に翌朝五時に停車場へ参りましたところ百十名が一人残らず驛頭に集合して下さいました此時ばかりは皆様の銃後の眞剣さに只々有難涙が止め度なく流れました。

此の時工廠當局からも大變なお褒めにあづかりまして分會の爲に非常な面目を施しました。こうした關係から七月廿日には持從武官御視察の御り選ばれて奉仕へ参加の光榮に浴しました。奉仕中尙ほお氣の毒に堪へないことは會員水島タケ子さんは六十八才の老ひの身にもかゝりませず奉仕にかゝりました事はありませんが其の日も朝露を踏みつゝいそ／＼と工廠さして出頭の途中不幸腦溢血でとう／＼刈田驛頭で永眠なされました。

た、この尊き御靈をお慰め申上ぐる爲私共は盛大なる分會葬をもつて心よりお送り致しました。刈田町分會が銃後を護る爲に協力一致如何に眞剣なる態度で活動を致して居りますかこの一端によりまして御推察下さる事と存じます。

其外出征家族に對しましては中元歳末に方り愛國婦人會福岡縣支部より贈られます臨時扶助や季節扶助の傳達を致しますし農繁期には永年實施して居ります託兒所の開設は申すに及ばず各部落を中心としました班によつて各家族の稻刈り田植又は田の草取りに出來得る限りの御加勢を申上げて幾分たりとも御家族をお慰め申上度いと常に實行に移して居るのでございます。

最近愛國婦人會縣支部よりの主唱に係る金献金や毛布献納の運動には會員擧げて参加し萬全の成果を收めさせて頂いて居るのは當然の次第でございますが殊に本年の孟蘭盆に際し戦病歿軍人の英靈をお慰め申上ぐる爲縣支部より靖國神社の寫眞額面を贈呈されましたにつきましては御遺族一同より限りなき感謝を受け分會としても此上なき面目を施し會員一同この適切な御計畫に只々感謝の凡てを捧げて居るのでございます。

私共は男子と異なり第一線に立つことは今のところ不可能ではございますが常に銃後のつとめが第一線と心得てみ國の爲にお互ひに勵まし合つて働かせて頂くことを衷心から喜んで居る次第でございます。

愛國婦人會宮崎市分會の活動

分會長 根 井 あ い

有史以來未曾有の大事變に當りまして、皇軍の勇士は氣候風土の異なる戦地に在つて、あらゆる艱難辛苦を忍び、勇戦奮闘破竹の勢を以て進撃し輝かしき戦果を收め、最近廣東並に武漢三鎮を相ついで陥れました。この忠勇なる出征軍人の御勞苦に對し只々感謝感激の外は御座いませぬ。私共は聲高らかに万歳を唱へつゝ次ぎ々に漏れなく勇士の方々をお送り致しました其のお別れに際し、

「では行つて來ます。あとはよろしく頼みます」
「しつかりやつて下さい、あとは引受けました」
とお互にいひかはしたので御座います。私共はもとよ

終りに臨み謹みて 明治天皇様の御製を拜誦させて頂きます。

國を思ふ道に二つはなかりけり
いくさのにはに立つもたゝぬも 終り

り銃後を護る責任を持つて居りますが、この誓つた言葉に對しても遺家族方を出來得る限りお慰めお扶けして、出征の勇士に後顧の憂のないやう務めなければならぬので御座います。

遺家族方の慰問並に扶助に就きましては各分區手分けして御家庭を訪問して隔てなき御相談にもあづかり吉凶事あればこれを慶弔し、些少ながら御見舞金を差上げます。

又昨年十一月には遺家族方をお慰安のため戦時ニュース並に時局にふさはしい映畫を觀覽に供しましたところ皆様のたく御満足の様子で御座いました。

また本年一月より當宮崎市で授産場を設けて遺家族の方に軍需品縫製の仕事を授けらるゝに當り、幼き子供のある人の爲に愛國婦人會支部に於て授産場附屬託兒所を設けて十五六名の幼兒を預り、専任の保母やお守を雇ひ、分會の幹部が之をお世話致しまして各分區から交替で毎日二三人づゝ役員又は會員で手傳ひまして半々年の間母親が専心ミシンの仕事に従事せらるゝやう致しましたところ、其の技術も進み作業が充分出来るやうになりました。嬰兒達も健やかに生育して日に々々愛らしくなりました。託兒所を閉ぢて別るゝに際しては愛着の念忍びがたく覺えました。

尙これ迄宮崎婦人會で、經營して居りました託兒所「みどり園」を本年四月から愛國婦人會の支部に移管しまして、主に軍人の子弟を預ることになり分會でもこれがお世話に當るこゝになつて居ります。幼兒は五十名にて健康状態もよく皆嬉々として楽しく遊んで居ります。

戦地の勇士方に對しては時々會員一同打ち揃ひ、宮崎神宮又は最寄りの神社に參拜して武運長久をお祈り致します。

又度々慰問袋やお見舞狀を出しましたところ、勇士

方からは陣中のお忙しい中をいとも細やかなるお禮の御手紙をいたゞきました。猛き武夫のかくも優しきお心を持たるゝかと、今更ながら帝國軍人のけだかき心情を偲びかゝる勇士のお働きによつて東洋永遠の平和も期して待つべしと一層頼母しく力強く覺えます。

出征軍人の中にも尊き犠牲になつて負傷せられ或は病に犯された方々は誠にお氣の毒で御同情に堪へません。これらの方々を御慰問のため都城衛戍病院には時々お見舞ひ致します。また昨年十一月九州各縣の陸海軍病院を支部分會合同して代表者三名にてお見舞ひ申上げましたところ、最初の見舞者として大層喜ばれました。どうぞこの傷病の方々の一日も早く御快癒せらるゝやうにとひとへにお祈り申して居ります。

特に戦場の花と散り護國の神となられた勇士に對しては何ともお禮の言葉も御座いませぬ。御戦死の悲報に接しますれば支部長、分會長、分區長と共に早速御家庭を弔問して供物料を捧げて英靈を拜し御冥福を祈り遺族の方々をお慰め申しますが、いづれの御家庭にても「君國の爲捧げたる命、軍人が戦場に斃るるは男子の本懐、家門の譽」を喜ばれ「たゞ充分の働きをなせしや否やを憂ふるばかり」と誠に雄々しき覺悟の程

を示されます。このけなげなる大和心はただ我國に於てのみ見ることが出来ますもので、皇軍が他に比類なく強き所以も亦こゝにありとたゞ々々感嘆の外は御座いませぬが、一方其の御心中をお察し申しますれば眞に斷腸の思ひが致します。かうした方々を婦人の温情を以て心からお慰め申すのが私共の務と深く感じて居る次第で御座います。

さて又本年六月政府が勤儉貯蓄を強調せらるるに當り、全役員擧つて婦人貯金の勧誘に勤めました結果、豫期以上の成績をあげ、人員一千六百、金額月々約一千圓に上りなほ増加の様で御座います。

銃後婦人の活動

宮崎市丸山町

國防吉田區分會長

日高サキ子

皆様には、銃後の婦人として、夫々、立派な御覺悟をお持ちになつてお出での事存じます。事變もいよ

／＼長期戦となりました。ついでには私共、一家の主婦と致しましても、日常の經濟に直接、重大の責任を感

するので御座います。一家庭の仕事の一つ／＼にも、努力と工夫を怠りませず、合理的な生活を致します事は、此際、最も必要な事と思ふので御座います。

婦人會は、丁度、一家庭の延長擴大致しましたものと、同様かと存じますので、此非常時局に順應いたし會の内容を整へつゝ、精神的には一層緊張し、経済的には益々實績を擧げて、此國防婦人會を確實な、根底のある強い會と盛立てますことが、私共會員の急務であると存じます次第で御座います。

私共、國防婦人會江平分會の、仕事の、大体を申上ますれば、昨年三月國防婦人會が結成されました以来會員は次第に増加し約一千名餘となりました。國防と云ふ貴い名のもとに御奉公申上たい私などの、最初に談合致しましたことは、一旦緩急の場合を思ひ、なるべく、男の力をかりないで處理して行く事、各班での思ひ／＼の行動を避け、歩調を合せ、一致團結して進む事、他の分會に對しては常に禮儀を保ち、互に協調して行く事、などで御座いました。

間もなく、七月には、事變勃發いたしましたして、皇軍の出勤となり、其後毎月お朔日と十五日には、官幣大社宮崎神宮に參拜し、皇軍の武運長久を祈願致し、出

征者に對しましては、お見送りと共に、お守り札や千人針を、皆さんに差し上げて居ります。其後折にふれて郷土の名所繪葉書などでお見舞申上て居ります。特に暑中見舞には役員の方より「銃後の音づれ」と題する新聞を發刊いたし、戦地にお送り致しました。それには出征後お生れの赤ちゃんのお寫眞を載せたり、學齡のお子さんの慰問文や各班の便りなど掲載いたしました處、戦場より思ひかけない程喜びのお便りを頂いて居りますのでこの「銃後の音づれ」は折を得て、又こしらへ度と申て居るので御座います。

出征遺家族の中には、お氣の毒なお家族も御座いますので、赤ちゃんの牛乳のお世話や、お米、薪、衣類などに、出来るだけの御世話をいたし、御産の悦び病人の御見舞、御不幸の御悔、など漏なく心計りの品をさし上げ其班御近所の會員は御家庭の都合を伺ひました上御加勢申上て居ります。その他一般の遺家族へは事變當初支那地圖を御配り致しました。又賑かな慰問會や武運長久祈願祭を催し、粗菓を差し上げて大變喜ばれました。

名譽の戦死を遂げられました御方の御悔や慕は度々致しまして英靈を御なぐさめ申、戦傷者の御慰問、

留守部隊の御見舞には僅かな御慰問品の外福引余興など致しまして勇士の方々を御慰め致しましたことも御座います。

私共の分會が各慰問品贈呈や、恤兵品献納、新聞の發刊などに要する資金は次のやうな労働によつて得たので御座います。

縣廳の許可を受けまして縣營綜合グラウンドにて競技會あるごとに賣店を開き又特に御注文によりまして日の丸辨當もこしらへさして頂いて居ります。そしてこれは皆當番制で致して居ります。

次に、防空マーク、石鹼、電燈カバー、祝賀用の提灯の賣上げによります収益、

次に野球場、演藝會の入場券の賣上による収益、次に干瓢の製造による収益、などで御座います。尙又奉仕的な、作業と致しましては、反毛材料の蒐集、之は四月末致しました。次に防空演習時の焚出し、聯隊演習の際や、出征部隊へ茶菓の接待、次に慰問袋の作製慰問文の發送、又は戦地へ梅干の發送、などで御座います。

別會計として、一ヶ月に一度御茶飲茶碗一杯の御米を分會區域内の各戸から頂きまして、之を御金に替へ

防空監視哨や警備の方々へ、感謝と慰問の爲めに毎月差し上げて居ります。

貯蓄奨励の一端として、各家庭に小箱を配布し、毎日、先づ、神前に御供へする御氣持ちで猪に米を貯へ月末には、會員御自分の貯金にして頂くので御座います。

銃後の守りは家庭生活の微細な點の注意から或は婦人會等の協同一致の奉仕によりまして相當大きな成果が得られるのであると信じますので今後も廣く皆様と手を取り合つて猶一層勉め度と思ふので御座います。

完

銃後婦人の活動に付て

福岡縣三井郡御井町

愛婦御井町分會長

阿 光 子

世界の歴史をかざる今日の時局に直面致しまして次々に傳へられます皇軍の輝かしいお働きを承りますにつけてもいよゝ重大なる銃後國民の責務が感ぜられますと共に無敵皇軍の御すがたにはおのづから頭が下る事をおぼへます戦線が擴大されますにつれて軍需材料は益々必要を感じ私共國民生活の上にも正に眞剣味を加へて参りました國民精神總動員が叫ばれますのも時局に善所する私共への心構へをきづきます事で、舉國一致大御心を奉戴し和を以て本領とし長期國難を切り抜けんとする慎重な用意をせよとのお示しだと存じます。燃え易く倦み易いは私共日本人の欠點とも云はれます、あくまでも堅忍持久のこの國難をきりぬければなりません。資源愛護と申すことも天地の恵みを尊び消費節約といふ事は放縱の心を戒め貯金勵行ではに

ぶる心を引き立て、しかも健康なる身心を養ひ以て國恩に報ひ奉る覺悟をさして頂きます。かように申上る中にも其の原動力は内から湧きいつるもので物よりも心が大切である事を痛感いたします。皇軍將士の方々が一死奉公盡忠の至誠よりのお働きを考へます時御家族方のお手傳を申上る事なき當然の事で御座いますがお互に自重致さねばならぬ事は慣るれば手でする事も足でとやらどこまでも有りがたう御座いますの氣持をつゞけさせて頂きませう、それにはやはり訓練が必要で御座います。私共の分會では貯金は毎月之を預ける事に致しておりますが、初めは幹部の方々でまためて居りましたが、只今では各戸廻しに致しております、之は一つの勤勞奉仕であり又訓練ともなります。出征御家族の方々へは御相談相手となりまして、或時

は農事のお手傳ひ又女中さんなどにお困りの場合御世話も申上げ、お手傳も申上げております。御就職についても御同様で又御子方の御面倒も見て上げております。一つの家庭相談所とでも申しませうか、大げらな事は出来ませんが、可なりお相手さして頂いております時には御家をお伺ひして御異状はないかとお尋ねいたしております。大勢で参ります事も御座います、之は其の場合でかねては部落の者でお受持ちに致しまして御本人様方の御迷惑にならぬ範圍でつゞけさして頂いております。御遺族様の方は月に一度づつ御墓掃除に参りまして御英靈に感謝の参拜を致します。御盆には會章入りの打敷をお供へ致しました。又陸軍墓地の御清掃もさして頂いて居ります、班によつて集合旗の下に参ります、途中は列を正して等は私共の銃であること云ふ氣持ちで肩にして前進します、班と受持場所と定めまして同時に作業を開始致します、又作業前後は必ず黙禮を捧げております。御武運の長久を月二回御禮に高良神社にお参り致します、同時に平癒も念じます。私方は御遺骨御安置申上ておりますので、皆様の御熱情には感心いたします。御遺族御参拜の折など出来る丈御相手を申上御慰め申上ております。曾て松

井大將閣下御参拜下さいました其時御遺族方への御挨拶のお言葉に、
何から申上てよろしいやら御挨拶の言葉も御座いますせんお見うけ申せば若い未亡人方も澤山居られます世間はどの様な事でもおこります何卒御大事に又御老人様もお見うけ申します嘸おさみしいお氣持で御座いませう此れから先はお若い方々とおむつまじくと温情あふるゝ御言葉にはそばで拜聴して居りました私共思はず襟を正し感激致しました。此の勇將の御心情さこそでも御推し申上て、銃後のつとめをさして頂く上に一層の覺悟をうながされました。白衣の勇士に對する感謝も御同様に其手となり、足となつて御慰問も申上度いと存じます。此れは又軍規の御さしづによりまして時を定めて奉仕御慰問をつゞけさして頂いております。最近では白衣の天使方に慰問袋を差上りました總てが長期をめざして戦つた兵は強く頑張つたが、銃後の私情にそゝがれて、其望みが達し得られなかつたと申します。私共は先づ國策順應のため廢品の更生を計らねばなりません。また、生活の改善向上につとめ國難の最只中に所する銃後の女性は孝養保育の大任と物資擁護の源泉としての使命を全ふ致しませう。其

昔奥村女史が現地を目にし耳にしてやむにやまれぬ心情が愛國の主意となり、實際の働きとなつたのであります。第一線の方々に白衣の勇士に又御留守宅の方々に、

私共は御誓ひ申します。婦人の手で出来る限りのことをいたし、御國のために、ひたすら盡したいと念願いたしてをります。

佐賀縣 中川副村早津江
愛婦 中川副村分會長

彌 富 モ ト

私は愛國婦人會佐賀縣佐賀郡中川副村分會長の彌富モトであります。佐賀縣は御承知の通り愛國婦人會の始祖である奥村五百子女史がお生れになつたところ、其の東南端で有明の海に近く筑後川の分流早津江川に沿うて細長い帯見た様な村があります。これが私の村で日本赤十字社の創設者佐野常民伯は村の殆んど中央に生れられたのでございます。そのすぐ側が舊藩時代に名藩主鍋島閔雙公が速くも我が國海防の必要を達観されまして海軍所を設けられた名高い土地でこれが我が國海軍の基となつたのであります。こんな由緒深い

土地に住む私共には此等の偉人から受ける感化による忠愛の至誠の血汐が流れてゐるのであります。それが銃後の活動となるのでございます。其の活動の根源は私宅で開かるゝ修養座談會であります。これには役員並に會員の有志が出席し龍谷中學校の先生を講師として時局に關する問題、婦人の覺悟、信仰生活等のお話を拜聴しまして時局を正しく認識し私共の決意を固め清められたる心で銃後の活動について反省を試み更に將來の計畫を協議するのであります。各分區では翌日例會を開き其の方法を打合せ實行

を誓ふのであります。

私の村でも澤山の應召者があります。應召者は一身を陛下に献げ死を覺悟しての首途であります。私共何でじつとして居られませうか。せめて何かの御費用の足しにと私は僅許りであります。その度に御祝ひを差上げて感謝の意を表はして居るのであります。役員や該部落の會員も往復六里の道を遠しとせず佐賀驛まで見送るのであります。無言の凱旋を迎へましては私共はもつと／＼お國の爲に盡さねばならぬ、もつと／＼眞心こめて武運の長久を祈らねばならぬと強く感ずるのであります。

會員は村内三つのお宮に毎日二名宛交替で日參祈願をなし尙毎月一日と十五日を祈願強調日として早起會を催し會員全部神社に參り、宮城遙拜國旗掲揚若が代齊唱祈願禮拜感謝黙禱をなし、掃除を済して歸ります。夜は各分區で祈願通夜をなし神前に軍人方のお寫眞を安置し大抜詞を齊唱し戦地からの手紙を集めて輪讀し戦地への慰問文を認め又時には家族を招待して慰安の會を致すのでございます。

私の村の應召者の家では食事に蔭膳を具へますが私達も家族方と同じ心になつて蔭膳の一部でもお具へし

たいがそれは到底出来兼ねますので、せめて、其心持を献げたいと思ひまして、役員が代表として、數回家庭慰問をなしたとき蔭膳用の御碗を差上げて御使用を願つたのであります。家族の方は大變な喜びで私共もともに泣いた事がありました。戦死者の遺族方に對しては特に心を配ることにしてゐます。弔問募參勤勞奉仕等は勿論障子の張り換へ燈火管制の光線漏の手當等までお世話するのであります。

出征將兵への慰問袋は分會で三百二十五個各分區が合せて四百十二個になつてゐます。傷病兵に對しては各病院の見舞をなし慰問金を贈呈し佐賀分院に洗濯奉仕をなし出勤軍人家族については生活調査並に扶助に努め勤勞奉仕には特に力を入れ農家への御加勢は勿論品物はなるべく應召者の商店より購入するとか應召者ある精米所には自分の家のお米はその家の婦人が運搬するなど細かいことまで定めて居るのであります。其他總會又は映寫會に遺家族を招待慰安するとか一々細かいことは申上げ兼ねますがこれ等慰問袋其他後援費用並に會費は全部私共の消費節約並に共同購入不用品賣却並に勤勞作業によつて得たお金でありまして残りの金は愛國貯金とするのであります。中でもその貯金は勤

勞によるものが最も多額を占めてゐます。勤勞による貯金の仕方は色々あります。素穂抜き葎草履作り、織り等各分區でそれを行ふのでありますが、或る分區では千數百圓を貯蓄してゐるところもあります。素穂抜きとは稲の藁の穂を抜き取る事で其素穂は主として製紙の原料とかななるそうですが婦人の仕事としては骨の折れる事で汗みどろになり又手にひびあかぎれが生じても厭はず毎日黙々として抜くのであります。月二回の早起祈願後一時間の素穂抜きは最も神聖なる無言の行になつてゐます。毎月一人二十五斤以上といふ規約になつてゐて月一回廻り當番の家へ盆米の貯め米と共に持寄り共同販賣をなし一部は團休貯金に一部は個

銃後婦人の活動

佐世保市山祇町

國防婦人會長崎縣副本部長

大江キマ

平時たると、戦時たるとを問はず。國防の責任の半

は、銃後にあることは、申すに及びません。就中、長

人貯金にして當番が産業組合に預金する事になつてゐます。私達の自覺による愛國貯金は全村で數千圓に上つてゐます。最後に申し上げたい事は私共婦人のみの手によつて單獨に防空訓練を行ふ事でありませぬ。婦人で出来ることは何でもやつて銃後を守りたいといふ建前から思ひ立つた事でありませぬ。私宅を本部とし傳令警報交通整理燈火管制を實施し完全なる成績を得ました。それは全く婦人が愛國の至誠による一致共同の精神の贈であると思ひます。そして私共は「防空は吾々婦人の手のみで完全に出来る」との確信を得たのであります。以上で私のお話を終ります。

期戦に入るにつれ、銃後婦人の責任の、重、且、大なるを感じる次第で御座います。かうした覺悟で、私共は、國防婦人の一員として、様々に、働いて居りますが、第一線の將士と、同じ心で、家庭内より、護國の大義を遂行しようと言ふ、精神に至りましては、聊の、相違も御座いませぬ。

されば、出征將士の御見送り、遺骨の送迎、合同葬儀の参列等には、何時も、代表者が出まして、或は之を激勵し、或は、感謝の誠を捧げ、只管、其御冥福を御祈り申上げて居ります。

又、戦傷病者に對しましては、時々陸海軍病院を訪問し、御見舞品を贈呈し、或は、舞踊などして、心から御慰め申上げて居ります。

殊に、是等、遺家族の方々に對しましては、誠に、御氣の毒で、何とも申上げられませぬ。只、眞心より御慰め申す外ないと存じます。それで、私共は、屢々御尋ね致しまして、御相談の相手となり、貧しき御内に對しましては、色々の物を、差上げてまして、其御辛

苦を緩和軽減する事に、力めて居ります。又、農家の植ゑ付、取り入れ時等は、先、是等、遺家族のお仕事を済まして後、各自の仕事をする事に

致して居ります。又、手不足の商家に對しましても、會員が、代る々々、其、店先に立ちまして、商品や、金錢の受け渡し等致して居ります。で、御座いますから、隣保互助の方は、割合によく行つて居ることと思ひます。

又、機會を設けまして、皇軍の武運長久、並に、傷病軍人軍屬の、平穩祈願祭等も、致して居ります。尙思ひ、々々、神社に参拝しましては、其、境内を清掃し、お墓に参りましては、其、墓地をお掃除する事に申合せて居ります。

更に、出征將士の御苦勞に對しましては本當にお慰め申上たいと言ふ心から、書状や、慰問袋、新聞、雜誌、清酒、サイダー、梅干、其他、色々の品を、御送りして居ります。最近、毛布献納を呼びかけました處「吾等の兵隊さんをこゝろえさしてはならぬ」との事で全縣下、今日迄、判りましたのみでも、五千五百枚の評定價額、三万二千五百圓といふ、莫大な額に上りました。

又、縣下、各分會悉くが、毎月、或は、數ヶ月置きに、廢物を集めて之を賣り拂ひ、國防献金、又は、分會の活動資金に、充て、居ります。此外、簡易保險の

掛金を集め、其報酬を得て、活動資金として居る分會も、數多御座います。

又、私共が、兼ねて、尤、注意して居ります事は、子女の教育、家庭の整理で御座います。是は、戦時であらうが、平時であらうが、私共婦人に課せられた、重大な任務で御座います。若、假に、子女の教育が行き届かず、家庭が兎や角で、御座いましたならば、出征將士の心情は、どんなで御座いませうか。又、戦争には勝ち得ましても、其後は、どうなりませうか。要するに、主婦たるものは、常に、一家の中心となり、万事万端を統べ括り、何時如何なる事が、起りませうとも、直に、善所し得ますやう、時局柄、特に、心懸けていたゞきたいと存じます。子女の教育に就きましては、尙、申上たいので御座いますが、省きます。

最後に、今一つ、申上たいことは、先に、政府が、國民精神總動員を提唱し、消費節約、廢物利用、貯蓄報國等、次々に、國民に要望して居ります事は、皆さん御存じの通りで御座いますが、是等、大部分は、私共婦人が、率先して、しなければならぬ事と、存じましたので、一同、聲を大にして叫びました處、佐世保市では、各分會、殆、悉くが、組合を作りて貯蓄致し

ました。それか、あらぬか、昨十二年六月末現在、七百六十萬、四千二百四十三圓の郵便貯金が、滿一ヶ年後の、本年六月末現在では、一千五十七萬、四百三十圓となり、其増額、二百九十六萬六千八百八十七圓、約四割の増加で御座います。之を、同時期の、全國増加率、約一割三分に比べますれば、佐世保市の増加率は實に大したもので、全國第一位で御座います。又世間を見ましても、凡てに、廢物利用がよく現はれて参りました。時代後れの帯を締め、不似合な着物を着て平然たるのみならず。斯くすることによつて、私共婦人が戦費を提供し、長期戦に堪へしめ得るのであると極めて、眞面目に、卒直に、言ひもし、行もする様になりました事は、私共、婦人として、誠に、心強く、且、喜ばしく、思ふので御座います。さすれば日本國民の凡てが、大なり、小なり、各自の行が、直に、時局に影響するものである事を、確信されまして、國策に順應せられん事を、懇願してやまないもので、御座います。

要するに、今次の時變は、實に、我國、未曾有の一大事件たることは、今更、申迄も御座いませませんが、それにも係らず、私共が、砲聲一つ聞くことなく、日夜

安心して、業務に携はり得ます事は、何といふ、辱さで御座いませうか。之を、彼の、世界大戦の際、英國民等の受けた、恐怖、困憊、損害等に比べますれば我國の現状は、まだ、々々、物の端でも御座いません。今や、廣東陥落に引き續き、武漢三鎮又我手に歸し、輝かしい戦果を、收め得ましたことは、誠に、御同慶に堪へませんが、皇國の大業は、尙、之からで御

い座ませう。されば、私共は、進んで時局の認識を深め、如何に、長期戦に亘りませうとも堅忍持久、微塵もたじろく事なく、銃後婦人の本分を盡して、聖戰の目的を貫徹し、我大日本帝國をして、大盤石の堅きに置くといふことに、努めなければならぬと、固く、信ずるので御座います。

佐賀縣三養基郡田代町
三養基郡分會長

大田素眞

婦人會の銃後活動に申しましたも、何處も大同小異だらうと存じますが私共でも、普通の婦人會以外に、愛婦國婦と二重三重の役割で、働いてゐます。慰問袋調達や、一品献納、金物集め、ガーター編み襪毛布造り、献納、毛布募集、反毛報國の毛糸屑類集め、愛國貯金の賣立て等から、應召出動のお見送りはもとより

應召將兵の爲には、高良山等へ祈願詣り、戦地へ慰問便り、戦死傷病の御不幸あれば遺家族へ或は病院へ吊慰見舞訪問、家事生業の御手傳、田植稻刈時には、託兒所を小學校に開設したり、又直接的な勞力奉仕等を致してゐます、其の他査閱點呼等にお手傳や、見學し、各種講演會には、努めて出席、時局の認識を深め

或は屑物を蒐集賣却して、國防献金し、陸軍病院へ奉仕に出たりしてゐます。

別に變つたこともない月並なことしか出来てゐませんが、之でも相當時間もとるし骨も折れます。然し會員の皆様が、どなたも不平一つ仰るのでなく、應召者を出してゐる家族同様の眞剣さ、否、自身第一線に出てゐる緊張味を以つて、當つて下さつたので、よそ様にも遅れをとらず、御奉公の出来てゐることは、心ひそかに、誇りも少し有難くも思つてゐる次第でゐいます。以上至極平凡で、あつけなく御感じの事だつたと存じますので、以下個人に涉る嫌もありますが、銃後活動は、己の立場／＼に應じて、ふさはしい御奉公の道もあるものだといふ一事例として、恐縮でゐますが私のやつてゐる事を述べさせて頂きます。

出征を歡送するあの、わき立つ歡呼の嵐の渦中に萬人が萬人抱く思は、皆のお方が武運強く思う存分の働きが出来て、しかも一人缺けずに御凱旋下さる様にこいふ、願と祈りの心持でゐませう。私なんか、千人針や、千人力を三十枚以上拵へましたが、つまるところ此の心持から外なりません。私は元來お観音様に仕えてゐる身でゐますが、特に此の心持丈なり、御饒

別にと、讀經修法、祈願の誠をこめた御守を、お贈り致し、晴のお首途を祝し御武運長久を祈上げ、御苦勞様でゐますとの御挨拶の心もこめて、お一人／＼に差上げてゐます。私の町の驛では、軍用列車は停りませんが、幸ひ、一里許先の〇〇驛では、廿分内外の停車時間がありますので、私は毎回そこまで出かけ、先頭から最後の車迄走り廻る様にして、皆のお方に洩れなく、お守をお頒ち致してゐるのでゐます。又將校幹部のお方には日の丸扇子、旗などを添えたりしてゐます。白衣の勇士やさては英靈のお歸、之こそ感謝のま心を以つて、護國の御靈を拜し、名譽の御傷痕をお慰めに、お出迎へせずには居れません。〇〇驛では、斯様の場合は勿論、出勤の時には婦人會員のお方々がどんな深夜にも、いつもホームへ出て、湯茶を接待し洗手、洗面身の廻りのお世話などをして下さつてゐます。今年の夏から、私の方の婦人會も、御加勢させて頂いてゐますが、同町婦人會は既に一年半、終始一貫かひがひしく御活動下さつてゐられるのでゐまして、誠に見る目にも感激に堪えません。

私も老驅を其の中に伍して、先程申しました様に、出勤にはお守を、お歸りには開運の鈴がらや、繪葉書

などを差上げては、形ばかりの御慰問を致してゐます根が幼少から、兵隊さん好で兵隊さんの爲なら何なりとせねば氣のすまぬ性ですから、日露戦争にも何やかやしましたが、六十近い今日では、二十代の當時程躰も動きません、といつても、熟としてなんか居れません。軍出勤の時等は、深夜未明晴雨寒暑を問はず、一日數回數日續きます自然眞夜中にも出掛け、徹夜する事も屢々ありますが、お観音様と御一緒だと思つと、怖いとも辛いとも思ひません。驛に出ない暇の折は、寺務の傍、慰問人形を拵へたり、お守を包んだり、慰問状や戦地便りの御返事を書いたり、冊子新聞、慰問袋發送の整理を致します。何分數も相當に上りますから随分努めてゐる積りでも、仲々捗りませんで、いら／＼することもあります。

從來毎月説教會を開いてゐましたが、こゝ數年、講演會とし、老若男女一般の御參聽をお願いし、此頃では御多忙中軍部のお方にまで、御講演を願ひ上げ、時局の認識を深め、銃後の覺悟を促す等、社會教化の一端に資する様取計らつてゐます。其他町内の應召軍人御家族をお招きし、從軍御子弟の武運長久傷病平癒の祈願等を營み、心ばかりの御供物や齋など差上げて、

御慰めするとか、寺所在部落の應召者御家族、最近の寫眞をとつて、戦地へ御送りするとか致してゐます。如何に精神的にと考へても、矢張金がいらいます。私はそんな時は大概托鉢に出て、金つくり致します。私が少しでも兵隊さんをお慰め出来るとすれば、夫は全く、淨財御喜捨のお蔭に由るもので、特に其點、此機會に厚く御禮申上る次第でゐます。先般、軍事援護の御思召を以て、畏くも御内帑金並に御勅語を賜ひ、皇后陛下亦或は戦死傷軍人に對し、御仁慈溢るゝ御歌を賜りました事は、誠に有難い極みでゐます。希くば今後愈々大御心に副奉り誠心誠意銃後の務に一層精進御奉公致度と存じます。

(完)

都城市 姫城町
都城分會長

安山清

國立公園霧島山が、天孫降臨の靈峯でありますことは、國民の齊しく信仰する所で御座いますが、我が都城は、此の霧島山の東南麓に位する農村都市で、御座います。

大正十三年四月、市制を實施せられ、更に昭和十一年五月、隣村と合併致しまして、只今は人口六萬五千余の軍都で御座います。之から愛國婦人會都城分會の狀況に就て、聊か、申上げて見たいと思ひます。私共の分會は、合併前までは、會員も二千名足らずで、御座いましたが、合併に伴ひまして、分會の組織を擴大する爲めに、昨年一月幹部會を開きまして、市内各區に百四十名の幹事を任命致しました。國民精神總動員体制下に、會員の擴充強化に邁進する事になりましたが、各幹事は、殆んど、寢食を忘れて、會員の募集

に、或は會費の徴收に努めました結果、只今では四千有餘の會員となり、會費も順調に、納付の成績を見ますことは、洵に御同慶に堪へない次第でございます。分會の新陣容が整ひますと、各幹部總動員で、街頭に出し、家庭必需品の石鹼や、手拭、その他お臺所品を戸毎に賣り歩き、純益金三百余圓を得ましたので、事前、總會の席上に於きまして、國防費として聯隊區司令部へ献金致しました。そして昨年七月、日支事變が勃發致しますと、吾が皇軍は神速果敢破竹の勢を以て連戦連勝、多大の戦果を收められ、その快報到る毎に、銃後の私共は、躍動の胸を押へ感謝しつつ、戦地の將兵の皆様と思ひを走せ、早速慰問袋五百個を發送致しますと共に、慌しい時局の中に應召家族の慰問に或は勤勞奉仕に、今日まで有形無形の努力を續けて居

ります。現在、私共の分會事業の大綱を、申し上げますと、婦人報國運動の趣旨を、休しまして、應召兵や出動兵のある度毎に、驛前に案内所を設け、將兵の皆様方、或は歡送迎の、皆様方のために、各會員が、輪番で奉仕致しまして、茶菓の接待から、旅館の案内まで引受けて居ります。一方毎週手分致しまして、陸軍病院に、白衣の勇士を慰問致し、室内のお掃除や、お洗濯、生花の取換へなどを、行つて居ります。又勤勞倍加運動として、會員總がかりで、廢物の、古布を蒐集致しまして、雑布二千有余枚を、作成し七十餘圓の純益金を得ましたので、此のお金を出征軍人遺家族の、お子供様方へ、下駄、足袋代として、金一封づつ贈呈致しました。更に全會員を十一班に分ちまして、毎月十五日を祈願日と定め、陸軍墓地を始め、市内十一神社に參拜して、武運長久祈願を致しましてのち、境内の清掃作業を、續けて居ります。出動兵や、白衣の勇士、無言の凱旋、將兵の送迎等には、當番會員が驛頭に、お出迎するのは勿論で御座いますが、戦病死者の御遺族に對しましては、會員代表六名交代にて御訪問し、供物料や生花を贈り、懇ろに英靈を慰めて居ります。外應召兵の貧困なる御家族には、米、麥、その他

日用品などを、取敢ず贈つて、之が救護の途を講じて居ります。更に、又軍人家族の姪姑の方には、支部長贈呈の、産具一式を贈りまして、勞力不足の御家庭を御手助けする等、銃後の遺家族に、何等不安なき様萬全を期して、奉仕致して居ります。最近では百四十名の幹事が資金の造成に力め會服袴がけで、元氣よく、手車輓いて戸毎に、空瓶や、毛糸、毛髮その他の廢品蒐集や、感謝劇など催しまして、其の勤勞奉仕で得たお金を以て、事變一週年記念に市内出征軍人遺家族全部を、劇場都座に招待致しまして茶菓を饗應し、各種の余興を上演し、盛大な感謝會を致しまして、心から遺家族の方々をお慰め致しました。又十月五日よりの國民精神總動員銃後々授強調週間、第一日には、約一千有餘の會員が會服、エプロン、袴がけで、神社神社に參集致しまして、皇軍の武運長久祈願祭を執行致し眞心から將兵各位の御武運をお祈り致しました。終つて各會員は一齊に、神社境内の除草をなし一日勤勞奉仕致しまして銃後婦人の意氣を示しました。今や國を擧げての非常時で御座ります。私共は時局に對する責任の一層重大さを認識致しまして如何なる事に遭遇致しませうとも、堅忍持久舉國一致以て銃後の護りに

全力を傾注致しまして之が完璧を期する覚悟で御座います。幸に我が都城市の婦人會は相互の間が極めて圓滿で、其の間何等の確執も御座いません。互に仲よく

手を握り合つて一意婦人報國の精神に燃へて、進んで居りますことを申上げて、私のお話を終ることに致します。

鹿兒島縣肝屬郡花岡村
分會長 上野 三

只今御紹介に預りました上野で御座います。銃後婦人の活動などご申す程の働きも出来得ないので御座います。事變以來私共が致して参りました概略をのべさして頂きます。

昭和十年の秋鹿兒島、宮崎兩縣下で大演習が行はれました時、長くも

大元帥陛下地方行幸の御砌、私共の村、花岡村古江港に御上陸遊ばされましたので御座います。この千載一遇の有り難き光榮を記念し奉るために私共の分會は生れ出たので御座います。

私共は事變に對處するため、昨年八月一日古江小學

校で、緊急役員會を開催致しました。所が村内各部落の役員三十六名は全部御集り下さいまして、協議致しました結果

一、資金造成を圖る事

二、出動將兵の慰問をなす事

三、應召遺家族の慰問と後援など

具体的に六ヶ條を決議致しましたが、何事を致しますにも、先きだつものはお金で御座いますので、第一に資金の調達に取りかゝつたので御座います。各部落毎に會員の方に御集りを願ひまして非常時局の認識と、銃後婦人の自覺を促しまして、後援資金造成の事を御

謀り致しますと、こんな時にこそ云ふ意氣込みで暮し向きの善し悪しの別なく殆んど全部の會員の方から寄附金の御申出が御座りまして、忽ち四百五十圓餘の資金が出来たので御座ります。其の後幹部役員方の御奉仕を御願ひ致しまして羊羹作りを致しました事が數回になります、その内には夜の一時頃迄かゝつて仕上げた事も御座りました此の手作り羊羹とちやうど賣りの御菓子とを荒平天神様の御縁日に持ち出しまして、幹部達は皆各々愛國たすきをかけて賣店を設けました所、参拜者の多數は私共の目的をお判り下さいまして、飛ぶ様に賣れました。其の外活動寫眞の札賣りや、石鹼販賣や、廢品の賣り上げ、脱毛の蒐集販賣、共同耕作など致しまして、資金の調達に努めました結果、壹千圓近い資金を得たので御座ります。此の資金をもちまして村出身の出動將兵の方全部に千人針を差し上げ、慰問袋は村の方は申す迄もなく〇〇航空隊出動將兵の方や、名宛を指定致さぬものなど今日まで五百餘個を送つてゐるので御座ります。其の外郷里で名高い神社名勝の繪葉書に慰問文を書きましたものや、鹿兒島の新聞などを次々に差し上げてゐる次第で御座ります。この春學校の裁縫室で慰問袋の作り方を致しました時

など三十餘名の會員達で午後八時から始めまして十二時が過ぎてもすみそりで御座りませんので、明日のお仕事にも障りましてはと思ひまして「残りは明晩に致しませうか」と申しますと「戦地で御働きの下さる兵隊さん方の御苦勞を思へば、これ位の事何でも御座りませぬ」とおつしやいまして止め様ごなさいませんで、私は却つて恥ぢ入りましたので御座ります。それでとうとう三時頃すみまして曉の一番鳥のなく聲を聞きながらお別れしたので御座りますが、皆様の此の御熱心に對しましては何とも申されぬ力強さを感じました次第で御座ります。

又村内應召者の遺家族の御慰問はその都度幹部の方で致して居りますが、昨年末には暮し向きの比較的お困りの方には餅米代としてお金で差し上げたので御座ります。農繁期には各部落毎に會員の方が一團となりまして、米、麥の植付け、草取り、又は取り入れなど御手傳ひする様に致して居ります。

去る三月八日と九月三十日に陸軍病院を、心ばかりの慰問の品を持ちまして幹部三十餘名で御慰問申し上げましたが、白衣の勇士の方々は、一日でも早くなほつて再び戦線に立ちたいとの御意氣をうかがひまして、

ほんとうに力強く有り難い感にうたれまして之れではまだ私共の致し方はたりないと深い覺悟を致しましたので御座ります。

戦歿勇士の村葬には香奠、花輪、弔旗をお供へしてどんな忙しむ時でも會員は皆参列して敬弔の意を表する事に致して居ります。私共會員は事變中衣服類一切の新調を見合はせ愛國貯金を實行する事を決議致しました。

大日本國防婦人會福岡地方本部ノ活躍ニツキテ

福岡市柳木屋町菰川通り

福井友

男は外を女は内をと云ふ原則のもとに日本婦人こそ現在將來の強き國民の母である云ふ認識の上に立ちまして年頃日頃主婦會母の會に愛國國防の精神を込めて不斷に修養せし實力の活用此時とばかり去年支那事變勃發致しまして以來銃後の守りは女の手でと堅く覺悟を極めました。

ては氏神様への日参から始めまして先此非常時に處する爲に自家の臺所に日常生活の改善を斷行致しまして貯金報國の實を隣保的に組合的に規約して此が實行に邁進して居ります。出征軍人の御留守宅や御遺族護理御慰めする事は自家の延長と心得て農村に於きましては植付から收穫迄平常の出來高から米一粒もへらしてはならぬと一生懸命に御加勢致して居ります。

礦業地の婦人達は男子が戰場に出られた留守中石炭の一塊もへらしてなるものか、銃後の守は此處にあると云ふ意氣込にてそれそれ其夫を勵まして一層の努力をすすめ或はボタ山に埋れてすたりつゝある石炭の屑を拾ひ出して資源愛護の實踐運動の範を示し得たる御金は御遺族御留守宅御慰問の料に充てて居ります。去年の冬から今年の春にかけて縫ひました軍用襦袢袴下共一針毎に此こそ戦地の吾子に着するのじやほころびたら彼の子が困ろぞ、縫代が深過ぎたら、馬に乗る時、走る時にもすれがして痛かるふと、母性愛の涙をこめて夜は二時迄三時迄、睡る子達の枕邊に毎晩の夜業ほんに此眞心がこもればこそ一針の千人縫さへ彈丸をよくる況んや此シャツ、ズボン下、たまもよけよ病もはらへみ祈りつゝ

一すじにま心こめて縫へやぬへ

よし指先に血はにじむとも

さしも莫大の軍用シャツ、ズボン下物の見事に縫ひ上りました。

次には毛織物、セル、ネル等の廢物を懸命に集めまして、皇國に足らぬ羊毛の資源に充つべく市を経て縣に納めました。

たが、各部落共よく實行されまして、會員の方の貯金が毎月ふへて行きつゝありますことは誠に喜びに堪へない次第で御座ります。

私共は會員一致團結一層結束を固めましてどんなに長期戦で非常時が幾年続きませうとも決して心をゆるめず益々銃後の守りを堅く致しまして皇軍日本の御榮の御爲めに努力を捧げる覺悟で御座ります。

其手を休むる隙もなく、戦地は寒落が早いと聞く、皇軍の爲人柱となつて戦ひつゝある勇士達に寒い思をさせてはすまぬ、集めましよう防寒用の毛布を集めて戦地に送りましよう、一軒毎に言葉低ふして御願致しまする熱誠振に感激されて、理解ある御家庭では成程戦争のすむ迄は毛布をつかわぬ事にしよう、内地は布園で事足ると申されまして一軒から三枚も五枚も御出下さつた御宅もある。或御醫師様では、獨乙に御留學紀念の高價の品迄下さつて忽ちの内に數千枚の毛布が集りまして、戦地に送られました。糸嶋郡其他の地方にては郡農會に力を添へて、小松菜、牛蒡等野菜の乾燥品を製造し、或は眞綿をひいてチヨッキ、耳袋等を調製して送りつゝある處もあります。

或は子供を背負ひ縫針の賃仕事に精出して得たる御金を献金し、或は野菜の行商をして、慰問袋の料に充て、居ります。

戦地に傷つき、或は病の爲に歸らるゝ白衣の勇士達の爲には、福岡市は勿論、三市八郡の各分會から十里二十里三十里に垂んとする路を遠しませず、交るがわる毎日三十人宛の會員が、奉仕して病室内外の掃除、病衣の洗濯、修繕に勤めつゝ、何としたら幾分でも其

苦痛を慰めてあげられようかと心を碎いて居ますから勇士達も姉の様に母の様に心から喜んで居られます。此迄福岡の〇〇病院には娯樂慰安の設備が何もございません事を苦に致しまして愛國國防の兩婦人會が聯合して十數萬の會員から喜捨の淨財一萬五千圓を集めましたて建築されました、慰安室天上に鶴舞ふ舞鶴寮が目出度病院の一角に落成致しまして其ステージには舞踊に長唄に毎日勇士達を慰むべく様ざまの演藝があつて居ます。

凡そ國の内外を問はず皇國に御奉公の人達は盡く此れ我子よ我弟よ勝たねばならぬ勝たせねばなりません。まさきくあれ我子等よ如何なる難行苦行にも御母さん

銃後婦人の活動

鹿兒島縣薩摩郡下東郷村中郷
中郷分會副長

臺之尊てい

此の重大なる時局に對する私共婦人の心意氣を少し

ばかりお話しさして頂き度いと存じます。今回の事變

がついて居るよと思ふ此方の眞心こそ山海萬里を突貫して戦地の勇士がまぶたに浮ぶ旗のかけとなつていやが上に戰場を上げまして千人力をつけつゝあるのございませう。
風も吹け雨も降れ國防婦人には晴雨もなく年齢もないと絶叫して出ては戦時婦人の使命鼓吹に聲を枯らし入ては家庭の防空に銃後の守に努力致しまする盡く此れ御奉公
漢口は落ちましても勝て兜の緒をしむる戦は此からでございます如何に長期に涉りましようとも國の柱國の礎陸に海に強き強き國民の母日本婦人は決してびくとも致しませぬ
以上

に當り私共婦人と致しましては、日夜奮戦苦闘なさるゝ勇士の方々への御慰問、遺家族の御見舞等を勵み、苟も後顧内憂を無からしむる事が最も大切だと存じます。それには何と致しましても此の際、國家を中心とする力強い團體を作る必要を感じました。

そこで私共の村に愛國婦人會員を増加して同會多年の婦人報國事業に参加する事が早道だと覺りました。役員協力一致の下に手分して各部落を廻り、各戸を訪問致しました。農家の事ですから夜間でなければ面會が出来ませぬ雨の夜、くらの夜等自分は何の爲めにこんな苦勞をするのだと淺間敷い心が起る事もありましたが、其の時は何時も第一線將士の辛酸苦勞の有様などを思ひ出しまして、吾れと我が心を勵ました事が幾度か御座いました。處が婦人方も愛國の眞心が湧いて居る時で御座いますから非常に御理解が早く次から次へと入會が願はれ、今日では縣下第二位の優良會員歩合となりました。之は私共が常に念願唱道して参りました舉村一致の婦道を實現しつゝあるものとして誇りと感ずる所で御座います。

私共の村は純農村で應召軍人の數も比較的に多いので、内は勞力も充分とは申されませぬ。私共婦人會員

が時局に對處する熱誠を以て結束しました以上は先づ此の點を開拓せねばならぬと思ひまして、會員を部落毎に數班に分けて、麥や水稻の植付け、收穫等一切班が手傳ふ様に致して居ります。随つて出征軍人遺家族の方々の仕事は何時も一般よりも早く片附くので御座います。農繁期には昨年二ヶ所託兒所を設けました。が、本年は三ヶ所設けました。一ヶ所何れも百名以上を收容して非常な好人氣で有り難い事に存じました。尙遺家族生活援護の方法と致しましては會員は常に當番を設けて慰問を申上る傍、生活の變動につき注意もし、相談にも乗る様に話し合ふて居りますから必要と認むる方には、分會長を通じて村長に申出で、村から縣支部へ内申して戴く事にして居ります。

そうして交附金は其郡度當番會員が持つて行き、御見舞致して居ります。

今日迄既に二十餘名恩惠にあづかつて居ります。全部の遺家族見舞には日用品を直接幹部が持参して彼れ是れと御話、又は御世話も致して居ります。戦死者遺族に對しては、香典其他物品の贈呈をなし、初盆に際しましては、炎暑の折柄幹部一同縣支部から寄贈されました靖國神社寫眞の額面を携へて遠い山里路を歩いて

御慰問申上げ、慕等致した次第で御座います。軍人家族のお産の時は、無料助産の斡施や児童健康相談のお世話も致して居ります。

時々分會主催で、活動寫真會を催しまして遺家族を招待し精神的慰安の途も講じて居ります。

傷病兵に對しましては、昨年十二月末分會幹部一同鹿兒島〇〇病院に白衣の勇士を御見舞して東郷蜜柑を寄贈致しましたら非常にお喜びになり却つて私共の方が嬉し涙に暮れました。後で陸軍大臣から感謝狀を戴きました。出征將兵方の祈願祭や、出發の見送り、饞別、神符、千人針、慰問袋の贈呈も既に十數回に及びました。又郷土新聞を發行致しまして、村の近況や、家族の様子等を御知らせして居りますが、戦地から種

々と御禮の手紙を戴き誠に恐縮して居ります。

脱毛廢品を集めて愛國貯金を實行し居てりますが其の勤も既に全會員に及びました。一方銃後に於ける教育の重大さも考へまして學校と連絡を計り昨年より村内、三校の尋常科高等科、各卒業生中の女子優等生一名づゝを表彰して向學心の奨勵も努めて居ります。

次に婦人の團体訓練並に健康増進の一助として各個ラヂオ体操に馴れる事、小學校、青年學校の運動會には各班から婦人適應の競技に参加し聯合体操をも致して居ります。

以上私共分會で實行致しました事を銃後活動の概況としてお話し致しました。

天草郡高戸村

分會長 辻 本 照 子

私の村は熊本市より知不火海を隔て二十里餘りの天草島上島の東海岸の一漁村高戸村でございます。全村六區の婦人達が、戦地の第一線で御奮闘下さいます將

兵の方々を思ひます時、可弱き女でも協力一致すればと振ひ立ちまして今次の事變以來銃後を護る婦人として成し來りました一端を述べさせて頂きます。先づ其

以前に私共は待望の漢口廣東の戦勝を祝すると共に我が皇軍將兵の勞苦及び護國の英靈に對しまして心から感謝致したいと存じます。

扱昨年の事變以來出征軍人のお見送りは何處も同じでございますが、分けても私の村から出征される若人達は朝夕親しく言葉をかはす人達で、皆兄弟の様な心知で村の中央の海岸にてお見送りするので御座います。

昨年の炎天にお休みに成る所が有りませんのでお氣毒に思ひ婦人の手で村木を借り集めお休所を作りまして粗茶を差上げて休むで頂きました。そうして出征される區の婦人達は共に乗船し日奈久又は三角までお見送りし残り小學生や村人と共に「何卒御國の爲十分お働き下さいまして、御無事に凱旋なされます様にと」念じ乍ら船の見えずなるまで日の丸を振りつけ、萬歳をとなへつゝお見送るので御座います。悲しき無言の勇士を迎へる折は先の濱邊に婦人總出で小學生、各團体、村人と共に二列に整列してお迎ひ致します。遺族の胸にいだかれた新しき白木のみ簾を迎へた時誰もが先づ白赤襷をかけて元氣一ぱい張切つて出征されたお姿を想ひ浮べたのでございませう迎へる者は

皆目に涙が一ぱいで御座います。肅として行列を作り、英靈のお家迄お供し佛壇前に安置されたみたまに私共は一人々々や／＼しく禮拜し其區の婦人達は其夜はお通夜致し來客の接待などにお手傳ひ致します。又御葬儀が村で行はれます時は、來賓の接待を受け持せていだゞいて居ります。遺家族慰問のつもりで、農繁期に稻刈、いも堀、麥まき、草取、施肥などとお手傳をさせて頂き、其折お茶や中食のお世話かけぬやう各自辨當持でございます。いつも手不足で、お仕事が他家よりおくれて居られたお家が昨年息子さんが出征されてからは「婦人方のお蔭で仕事が早仕まひで嬉しくてたまりません。毎年他家よりをくれて恥しい思を致して居りましたのに」と心から喜んで頂く時は先きの勞苦は忘れて又何をして喜んで頂くうかと樂む程でございます。

其れから廢品廢毛等出し集め拂下た金子を少々では御座いましたが國防献金に致しました處陸軍省海軍省から縣下の献納金で飛行機を作り名命式を帶山練兵場で行ふからと、通知をいたただき恐縮いたしました。戦地へ慰問袋を三回程致しましたが何分相當費用が入りますので、日を定めて夕食後各自宅で繩をなひ集め或

391
548

は山から溜邊迄薪木の脊負出を總出で致しました賃金や各自の小遣を少づつ出し合せ各戸に寄附を頂きましてまとめましたお金で慰問袋を作り必ずお手紙を添えて送り致しました、送りました内容はわずかで御座いました。が戦地の兵隊さん方には餘程嬉しかつたと見えて命がけの中からお禮の言葉と銃後は安心してました。つかりやりますとお手紙頂きました。それから戦傷病者をお見舞申上たいと語り合ひました。薪木の荷ない出しで熊本迄の旅費を作りました。當村から熊本に出ますには是非一泊しなければ成りませんが宿に宿りますと費用が加さみますので船中に休む事にして去る二月八日午後八時發動船を雇ひ出發しました。これには留守しても差つかへぬ婦人や若い婦人達が進んで行きました。豫定通り船中にやすみ翌朝三角驛發一番列車で熊本に出まして先づさきに藤崎八幡宮に參拜出征軍人の武運長久をお祈りして急ぎ藤崎台の〇〇病院の分院へ行きまして院長様やお係の方から近頃の御容体及院内で奉仕上の御注意を承り洗濯、あんま、お舂の清潔、お手紙の代筆等させて頂きました。ところ兵隊さん方皆喜んで下さいました。中にも郷里出身の方からは懐がられ「これで私達は片身が廣くなつた」と喜んで下さいました。

其當時迄は郷里から一度もお見舞のない折とておよろこびも大きかつたわけでございます。「又来て下さい」となごりおしまれましたので今一度と語り合ひますが思様に出来ず残念でございます。此の上は猶更神佛のお力にお頼りしたいと存じました。毎月朔日と十五日の當日には午前四時を期し産神様に婦人一同參列して聖壽の萬歳と國運の隆盛出征軍人の武運長久及び戦傷病者の御快愉を眞心からお祈り致して居ります。

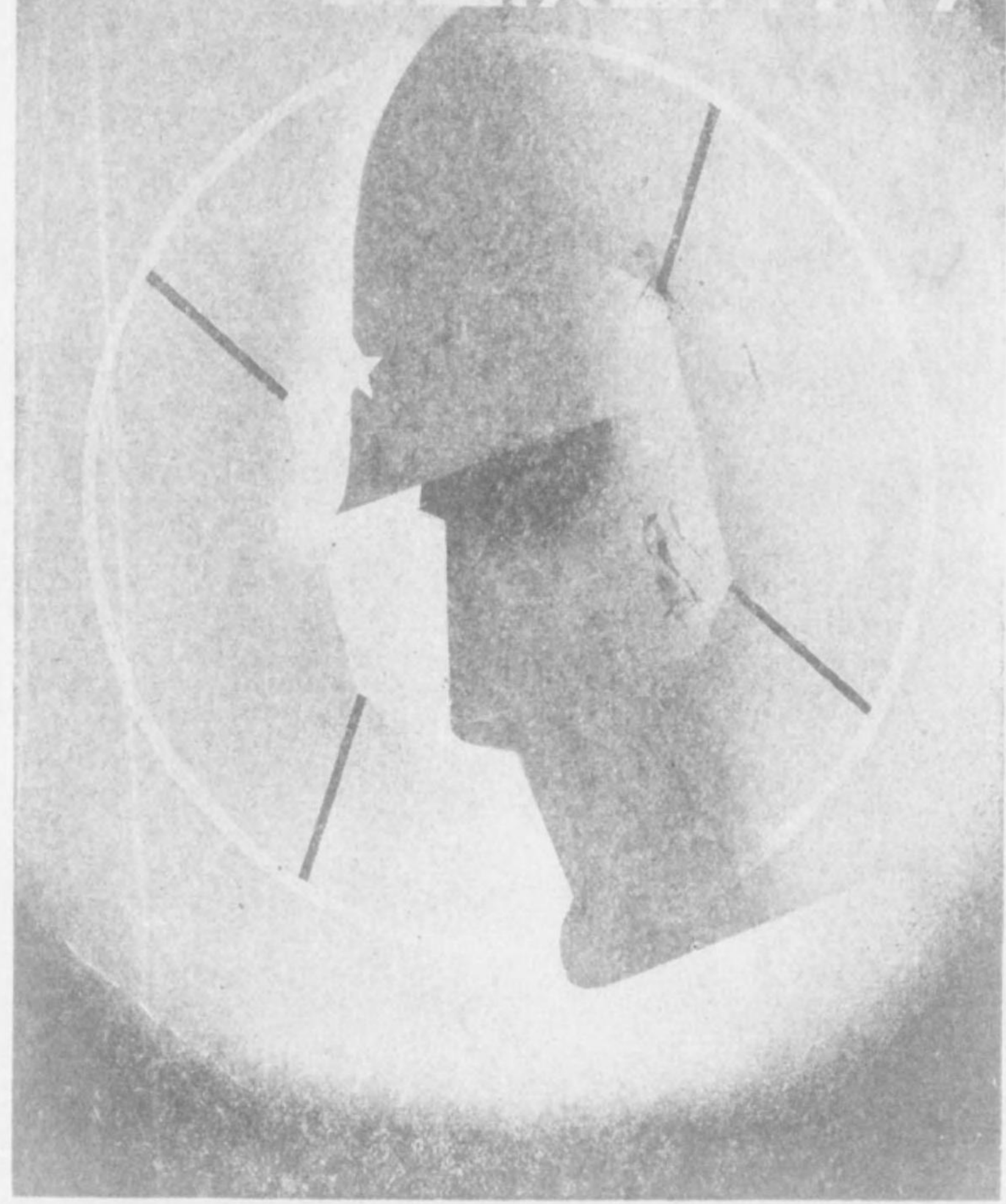
田舎の婦人は雑務に追はれて修養を欠き時局の認識なども薄く御座いますので銃後を守る婦人として修養したいと存じ學校等で開かれます修養談、時局談など御座います時は家事は差繰まして皆こぞつて出席いたし時局の認識を深め家庭經濟を計り修養して子女の教育に務めて居ります。

漢口、廣東は陥落致しましても事變終局の見透は甚だ困難で御座います。特に國をあげて長期戦は是れからだとさげばれてゐます。此の秋に當り私共銃後の婦人は三千年の歴史に培はれたる日本婦道の宣揚と共に世界に誇る家族制度の眞髓を發揮し以て層一層の銃後の護りを堅めたいと存じます。

昭和十四年二月二十日印刷
昭和十四年二月二十五日發行

編輯兼 發行者	熊本市城見町一番地 熊本中央放送局
代表者	永松善次
印刷所	熊本市西外坪井町八一 吉井印刷所
印刷者	右同所 吉井富雄

興國での前線での
活動及び普及



終

